



紀の国わかやま国体・大会 文化プログラム

和歌山の文化・芸術の発信

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会 文化プログラム

編集・発行

和歌山県国体推進局総務企画課

(紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

和歌山県国体推進局総務企画課

(紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局)

Tel.073-441-2955 Fax.073-427-5377

E-mail
e0011001@pref.wakayama.lg.jp

ホームページ
<http://www.wakayama2015.jp>

右記のQRコードから
メール送信ページへ
アクセスできます。



右記のQRコードから
ホームページへ
アクセスできます。



[紀の国わかやま国体・大会 きいちゃん]
ユーザー名: @kiichann2015



[紀の国わかやま国体・大会]
<https://www.facebook.com/wakayama2015.jp>



[紀の国わかやま国体・大会実行委員会]
ユーザー名: @kiichan2015

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を契機に、和歌山の文化・芸術を紹介する文化プログラム事業を県内
各地で開催し、魅力ある和歌山の文化・芸術を全国に発信します。

平成27年4月1日から平成27年10月31日まで



リサイクル適正(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

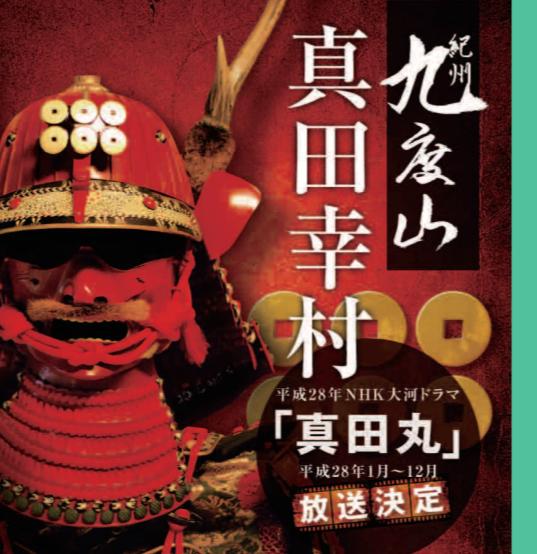
R 100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



047 紀州おどり「ぶんだら節」



161 真田祭

平成28年NHK大河ドラマ
「真田丸」
放送決定

Pick up 紀中



229 笑い祭り(丹生神社秋祭り)



183 中将姫来迎会式



文化プログラムとは

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及することに併せ、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的としています。

本年は、和歌山県の文化・芸術を紹介する文化プログラム事業を県内各地で開催しますので、悠久の歴史と美しい自然のなかで、創造力ゆたかな和歌山県民がはぐくんできた多彩な文化・芸術をどうぞご覧ください。



223 道成寺会式(ジャシジャカ踊り)

Pick up 紀南

熊野三山例大祭

302 トルコ記念館 常設展示
トルコ軍艦遭難慰靈碑

Pick up 紀北



055 和歌山県スポーツミュージアム



234 熊野本宮大社例大祭



289 熊野速玉大社例大祭(御船祭)

292 熊野那智大社例大祭
(那智の扇祭り)

高野山開創1200年記念 弘法大師・空海シンポジウム（概要） ～お大師様が御座します高野山～

2015年1月17日



宗教学者
国際日本文化研究センター名誉教授

山折 哲雄

1931年サンフランシスコ生まれ。国立歴史民俗博物館教授、国際日本文化研究センター所長などを歴任。現在、同センター名誉教授。著書に『道元』『こころの作法』『山折哲雄セレクション生きる作法(1)-無常の風に吹かれて』など多数。



基調講演：山折哲雄「空海、現代に蘇る」

空海は常に「人間とは何か」「日本人とは何か」「自己とは何か」という三つの問いに直面していました。その問いに答えようとして、彼はどのような人生を歩んでいったのでしょうか。また、彼はその問い合わせてどういう解決の道を示したのでしょうか。

人間とは何か

空海は中国に渡った際、広大な領土に異なる言葉・人種・文化が混在する国家はどのように治められているのかという問題に関心を抱きました。国を治めるとはつまり、その国の人一人の人の魂をどのように捉えるかという問いかけています。彼はその答えが密教にあると考え、それを日本の国づくりに役立てようとしたのです。

密教の修行では印を結び、真言を唱え、姿勢を正して座り瞑想を深めます。これは三密加持といつて、身体・言葉・意識の三つのレベルで瞑想を深めるものです。その瞑想の中で眼前に大日如来が現れ、その大日如来のイメージと自分自身を合体させようとする。これが「即身成仏」の試みで、密教の人間救済の原理であります。人間の魂を救うため、空海が密教の中から取り出した究極の原理はこれだったのではないかと思います。しかしその原理をそのまま日本に取り入れると、日本固有の文化が中国の強大な文化に飲み込まれてしまう危険性があります。そこで彼が重視したのが、記紀万葉の時代から日本人が抱く靈魂觀でした。

日本人とは何か

その取組の一つとして真言院の構想が挙げられます。御所に真言密教の道場である真言院を作り、そこで天皇の身体を加持祈祷することで天皇の靈魂を浄化しようとした。つまり、天皇の健康管理を真言密教のシステムで行おうとしたのです。国王の魂をコントロールすることによって国家をコントロールする。

政治人間空海の面目躍如たる発想であります。

また、仏教では魂を語ることが禁じられていたのに対し、空海はそれを認めました。日本人の氏神信仰の原点である死者の魂への深い関心を重視する、新たな仏教思想を生み出すことで、大衆教化を進めようとしたのです。

つまり、空海は中国や仏教の体系と対峙することでその原理を受け継ぎ、さらにそれを日本の独自性と突き合わせることにより、第三の道を探り出そうとしたのです。

自己とは何か

次に空海は、「人間とは何か」「日本人とは何か」という問い合わせを抽象的なものに終わらせないため、「自己とは何か」という問い合わせに答える必要があると考えました。その思想が『十住心論』に体系化されています。人間の心は煩惱にまみれた心から真言密教の心まで十段階に分かれています。日々の修行（三密加持）によって心を最高のレベルまで高める必要があると説きました。さらに、初々しく新鮮な心（初心）を忘れず、身体と心の一体化の鍛錬が大切であることも説いています。心は変化し、成熟するのです。法然・親鸞から夏目漱石に至るまで、その後の日本に連綿と受け継がれていく「心を重視する思想」を最初に説いたのは、空海だったのです。

今に生きる空海

このように空海は、国際的な舞台に立ち、異なる文明と対峙・格闘することによって自らの思想を切り開いていきました。今を生きる我々は、そのような空海の歩みをあらためて見つめ直す時にきているのではないか、と私は思います。

現代の日本に目を向けてみると、他国との関係や自然災害といった様々な危機に直面しています。今こそ、一人一人がこの三つの問い合わせについて考えるべき時なのではないでしょうか。その際、空海の人生から学ぶべきことは実にたくさんあると思うのであります。

弘法大師・空海 パネルディスカッション

弘法大師・空海の人間的魅力と業績

山折さん：まずは最初のテーマ、弘法大師・空海の人間的魅力と、その業績についてそれぞれのお立場からお話をいただきます。

家田さん：私は10年前から四国つなぎ歩き遍路の修業をしており、今、9巡目を廻っています。2泊3日で毎月120km前後歩いて四国1400kmをつないで一周します。高野山大学大学院に入って、働いている人が「今、行きたい」と思った時にできるよう連休をつなぐ方法を考えました。連休の土・日・祝日の2泊3日で120km歩くと12回で一周、毎月行けば一年でできるのでやっています。お大師様である金剛杖と一緒に歩かせてもらいます。まさに同行二人です。

お遍路を続けていると弘法大師空海を実感することができます。高知県の室戸岬の24番札所、最御崎寺（ほつみさきじ）の500メートルほど手前に、お大師様が求聞持法という修行をされた御藏洞（みくろど）という洞窟があります。そこの前に立ちますと、空と海しか見えないので、ここがお大師様が自らを空海と名づけたといわれる場所です。四国遍路でお大師様を感じていただけたらと思います。

添田さん：弘法大師は一族の期待を裏切る形で僧侶になり、それすごく批判されるんですね。儒教で最も大切な親を敬う「孝」を否定することになると。それで弘法大師は戯曲仕立てのストーリーで儒教、道教、仏教を並べ仏教が優れていることを説得する「三教指帰」を書きます。ある種の出家宣言ですね。

出家して四国の室戸岬や石鎚山で修業するんですが、最終的に悟りに到達します。その体験を「谷、響きを惜しまず、明星来影す」とおしゃっています。要するに光明体験をした、自分が唱える虚空蔵菩薩の真言が響き渡り宇宙的な光に包まれたと。

弘法大師は遣唐使としてのちに中国に渡ります。日本では誰も自分の体験を説明してくれないから命がけで遣唐使として中国に行き、都の長安でいろんなお寺をまわり、最終的にたどり着いた、青龍寺で惠果和尚に会う。惠果は弘法大師を一目見て「悟りを開いた若者だ」とわかりました。そして金剛頂経を教えてもらいます。この経は、大日如来の言葉が宇宙に満ち溢れていることを説いた経典で、弘法大師は初めて、自分の体験が単に思い込みではなく「宇宙は言葉である。現実の世界は言葉で満たされている」と確認したんですね。

高野山開創 1200年



「小説家は処女作に帰る」と言われるのと同じで弘法大師も三教指帰に書いた問題意識を生涯持ち続け、それをいかに言語化するか、それを課題としておられた。だから帰国して新しい宗派を作る時に真言、まことの言葉という名前を付けたんです。「世界は言葉で満たされている」という弘法大師の結論をヨーロッパの人々に話すと「それはヨハネ福音書の、始めに言葉ありき、言葉は神と共にありき、と同じですね」とおしゃられます。

金山さん：私も10年ほど前に四国88か所を歩きました。88番の大窪寺でみんなが涙を流しながら「ありがとうございます」と歓喜するんです。なにかわからないがありがたいんですね。たぶんそこに見えない弘法大師に対するありがたみ、実際に歩いてみると隣に弘法大師を実感できるんですね。都会なんかにいると実

感できないですから。

今日は僕は空海の両極性、彼の思想性と、もうひとつは庶民性と実践性について話したいと思います。法然も親鸞も道元も日蓮もみんな延暦寺大学の卒業生みたいなもの。空海は傍流にみえる。空海は成仏を徹底させて大日如来と一体化することで即身成仏を果たすというのを明確に打ち出した。一見鎌倉仏教と関係ないようでいてその空海の思想は一人残らず新佛教の祖師たちにつながっているわけです。

空海の思想にはすべてを含みこむ総合性、普遍性が秘められているといつていいます。もう一つすごいのは日本の山岳宗教の持つわい雑さ、多様性、ダイナミズムを仏教に融合させていったことです。多様性を多様性のまま保持しながら仏性一元の宗教思想に高めていくことをした。そこに大乗密教者空海の真骨頂があると言つていいと思います。



家田 庄子 作家 高野山真言宗僧侶 高野山本山布教師

日本大学芸術学部放送学科卒業後、高野山大学学院修士課程修了。高野山高等学校特任講師。10以上の職歴を経て作家に。「極道の妻たち」をはじめ、数々のヒット作を出し、1991年には「私を抱いてそしてキスしてエイズ患者と過ごした一年の壮絶記録」で大宅壮一ノシフィクション賞を受賞。2007年、高野山大学にて伝法灌頂を受ける。

添田 隆昭 高野山真言宗宗務総長 總本山金剛峯寺執行長

1947年和歌山県高野山生まれ。京都大学文学部哲学科、高野山大学大学院博士課程修了。2007年権大僧正に補任。1978年から高野山大学非常勤講師(ドイツ語)、2001年高野山高等学校校長就任。2013年から現職。

金山 秋男 明治大学法学部教授 明治大学死生学・基層文化研究所代表

1948年栃木県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。専攻は死生学、宗教民俗学。著書に「生と死」の図像学、「巡礼 - その世界」、「人はなぜ旅にでるのか」、「生と死の東西文化史」(いずれも共著)など。

仁坂 吉伸 和歌山県知事

1950年和歌山市生まれ。東京大学経済学部卒業後通商産業省入省。生活産業局総務課長、経済企画庁長官官房企画課長、製造産業局次長を歴任後、2003年からブルネイ大使、社団法人日本貿易会専務理事を経て、2006年から和歌山県知事。

仁坂知事：私は弘法大師には4つの特色があると思います。1つ目はまことの人。真摯で一途の人です。この反対語は俗物と言えるのではないかでしょうか。恵果和尚の後継者として名聞を極めて帰国したので、山に籠もる必要はなかった。嵯峨天皇の師となることもできたのに、生涯真実を求める修行を続けた人だと思います。

2つ目は愛國の人、さらに言うと愛国民の人です。橋杭岩の伝説など、日本全国にたくさんの伝説が残っています。「弘法も筆の誤り」などの逸話が数多くあるということは、空海の足跡がいかに人々に愛されたかを物語っていると思います。

3つ目は万能の人です。語学、土木、薬学、音楽、書、文学と何でもできてしまいます。世界を見渡すとレオナルド・ダ・ヴィンチもそのような傾向がありますが、彼は途中で止めてしまう。空海は絶対に止めない。一生続けるところが違います。

4つ目は稀有な人です。中国に留学し、あっという間に恵果和尚の最高の灌頂を受けて後継者になってしまいます。私たちからすると、信じられないほどの才能を持った稀有の人だと思います。

高野山の靈場としての意味や魅力

山折さん：では次のテーマ、高野山の靈場としての意味や魅力をお話しください。

家田さん：私にとって高野山は、高野山真言宗の僧侶でありながら、かつては「高野山を訪れる」感覚で、少し遠い聖地でした。ところが、高野山大学学院の修士課程を修了し、高野山本山布教師になって、總本山金剛峯寺や奥之院で法話をさせていただくうち、どんどん高野山が近くなっている。

です。気がついたら、高野山を訪れる方々、お一人お一人に、「高野山によくこそ」と、声をかけさせていただく立場になりました。私の10年間をふり返りますと、2015年4月2日から始まる開創法会に向かって、まっしづらだったようです。

大師様が1200年前お開きになられた高野山が繁栄し続け、奥之院の御廟(ごびょう)にいらっしゃるお大師様に会いに来られる方々が、今なお毎日、大勢いらっしゃる……このような聖地は、他にないと思います。一つのお山に117もの寺院があり、僧侶だけで1000人はいるという高野山は、まだ行かれたことのない方にとって、想像の域をはるかに越えた聖地だと思います。高野山に行かれたことのある方々でも、高野山は奥が深く、知り尽くすことができません。次も、皆様のその目で、耳で、鼻で、そして体で、皆様の高野山をお感じになられて下さい。1200年も続く、この高野山で、弘法大師空海の思いと、歴史をつないで行くお一人に、ぜひ皆様もなられて下さい。

添田さん：弘法大師様が道元さんや親鸞さんと違い、いわば千年の命でいまだに生き続けているというのが日本の宗教者の中で唯一の存在なんです。奥之院の地下の石室で長い座禅を続けていると信じられています。そんな荒唐無稽な信仰が1000年も保てた理由はなにかと考えますと、いろんな人が人生の苦難の時に弘法大師に救われたという、そんな出会いの積み重ねが一見、荒唐無稽な信仰を今日まで生命あらしめてきた原動力かなと思っています。

「虚空尽き衆生尽き涅槃尽きなば我が願いも尽きなん」と言って、生きとし生けるものがなくなる時が来るなら、自分の「すべての人を救いたい」という願いも尽きるだろうとおっしゃって、それを実現するために座禅を続けている、と私どもは考えてい

るんです。
キリスト教の宣教師が昔、これを知り日本には弘法大師と言う悪魔がいるとローマ教皇に書いた手紙で伝えているんです。これができるのはイエスキリストだけなんです。十字架で処刑されたあと復活し、信者のもとを訪れる。イエス以外にそんなことができる者がいたらそれは悪魔だと。

すでにその時に弘法大師様が岩の中から現れて衆生を救ってくださると広く信じられていたんですね。これが、高野山が1200年の宗教的生命を持ちえた理由であると思います。

金山さん：われわれに弘法大師を一番近づけているのは弘法大師の庶民性、実践性があると思います。最澄も鎌倉時代の祖師たちも社会的な実践活動をほとんど行っていないと思っていいと思います。満濃池などの工事もありますが、綜芸種智院、これは日本における初めの庶民教育機関です。これを創設するときに空海は4か条の文を書いています。第1に教育環境に恵まれていること。2番目に学問分野を広く総合的に学び人間教育を目指す。3番目、良い教師がたくさんいること。4番目、教師と生徒の経済生活が保障されていること。今の大学、高校でもこれを満たすところはありませんね。

庶民にとっては弘法大師は地靈であり、八百万の神の化身であり、遍路をやるとそれがよくわかります。それだけ日本人が古来持ち続けてきた宗教的感性にフィットしてたということでしょうね。だから高野山において弘法大師がいまでも禅定にあり、私たちを救済しつづけているという信仰が生まれたのです。

仁坂知事：高野山についても、また4点申し上げたいと思います。まず1つ目は世界でここしかないということです。世界遺産と

なって昨年で10年を迎ましたが、金山が寺院で、誰でも来ることが出来る聖地というのは世界でここしかないと思います。

2つ目は皆が守ってきたということです。金剛峯寺を中心とした高野山の経済圏が形成され、各寺院や地域の人々が文化財を守っていました。その文化財には70兆円の価値があると、損害保険会社によって試算されたことがあります。高野山を守るという意味では私も、通過交通を迂回させるための外周道路をまもなく完成させる予定です。

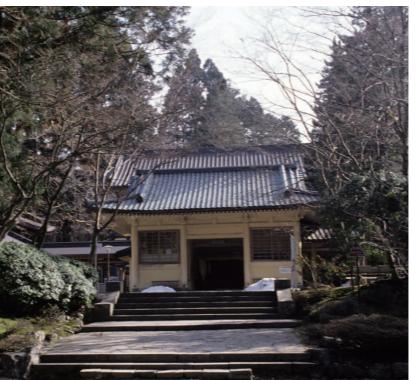
3つ目は寛容の都であるということです。高野山では敵も味方も同じお墓に入っています。現在、宗教の対立で大変な状況となっている所もありますが、高野山はそういうことを卒業して、誰が来ても受け入れてくれる場所になっています。この精神を世界の人は味わって欲しいなと思います。

4つ目は謎の高野山です。伝説はたくさんありますが、なぜ空海が高野山を修行の場に選んだのかが私にはわかりません。四国をはじめ、都から遠く離れた場所は全国にたくさんあるのに、なぜ高野山を選んだのか。謎がある高野山ということです。

山折さん：ありがとうございます。最後に一言私が申し上げます。イギリスの歴史学者アーノルド・トインビーは、これから未来を拓く文明は大乗仏教文明であると主張していました。彼が来日した際、日本の大乗仏教の一番の根本はどこかと考え、真っ先においでになったのが高野山だったということを思い出しました。今日は高野山、空海の魅力について存分に語っていただきました。ありがとうございました。

高野山

平安時代の弘仁10年(819年)頃より弘法大師空海が修行の場として開いた高野山真言宗、日本仏教における聖地です。

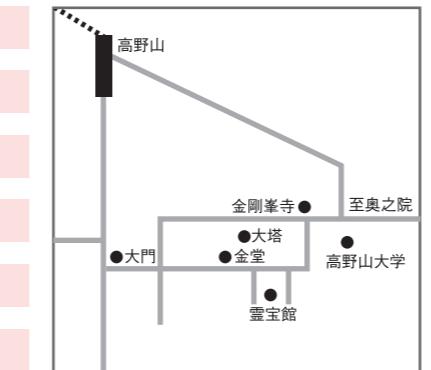


高野山

高野山は弘法大師の開創以来、12世紀にわたる長い歴史の中で栄枯盛衰を繰り返し、今なお法燈を守り続ける真言密教の一大道場です。開創以来、幾たびかの自然災害や明治初期の廃仏毀釈などで、山上の優れた文化遺産を焼失、散逸させてしましましたが、現在なお117ヶ寺に有する文化財は膨大な量を誇り、まさしく文化財の宝庫、宗教芸術の殿堂と呼ばれる所以がここにあります。さらに、平成16年(2004年)にはユネスコ世界文化遺産に登録され、国境を越えた世界共通の宝物として注目を集めています。

高野山靈宝館

高野山靈宝館は、こうした高野山内の貴重な文化遺産を保存・展示する施設として大正10年(1921年)に有志者の寄付と金剛峯寺によって開設されました。この時に建てられた本館は、平成10年(1998年)に登録有形文化財として指定されています。昭和36年(1961年)には大宝蔵を増設し、山内の国指定有形文化財(美術工芸品)の大半を収蔵することになりました。さらに近年にも指定物件は増え、昭和59年(1984年)、平成15年(2003年)と続いて、収蔵庫が増設されました。現在では国宝21件、重要文化財143件、和



文化プログラム

171 高野山開創1200年記念大法会

172 金堂御本尊特別開帳・金剛峯寺持仏御本尊開帳

173 旧正御影供御遅夜・旧正御影供

174 青葉まつり

175 第42回万燈供養会(ろうそくまつり)

177 世界遺産高野山ツーリーマーチ

華岡青洲顕彰施設 青洲の里

世界初の全身麻酔を使った乳ガン摘出手術に成功した華岡青洲。その偉業を顕彰し、楽しく学べる施設として作られたのが青洲の里です。

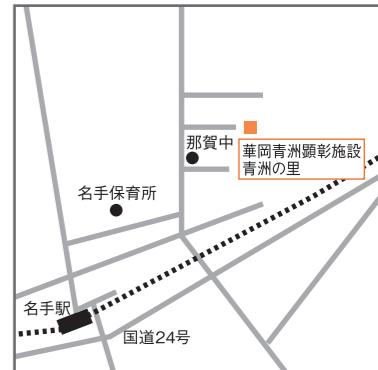


顕彰施設のあゆみ

世界初の全身麻酔を使った乳ガン摘出手術に成功した華岡青洲。その偉業を顕彰し、楽しく学べる施設として作られたのが青洲の里です。青洲が作った住居兼診療所「春林軒」、建築家、故・黒川紀章氏の設計による蔓陀羅華(マンダラ)の花をモチーフにデザインされたフラワーヒルミュージアム。ミュージアムには青洲の記録を展示した展示室、またレストランでは紀の川市がすすめる食育の拠点として、地元で生産された四季折々の食材を活用したお料理を、バイキング形式で楽しめます。

華岡青洲の生涯と医術

青洲は麻酔薬「通仙散(つうせんさん)」を発明し、世界で初めての全身麻酔による乳ガン摘出手術に成功した外科医です。患者の治療に取り組むかたわら、新しい治療法の研究や薬草採集、そして麻酔薬の研究に打ち込む日々を送りました。麻酔薬の研究をどのように進めたのかを示す詳しい記録は残っていません。青洲はまず動物実験によって薬の効果と安全性を確認し、その後人間の体で効果を試したと考えられています。人体実験では母「於継(おつぎ)」と妻「加恵(かえ)」が自分の体を使って麻酔薬を試してほしいと自



文化プログラム

112 青洲まつり

期間 10月下旬の日曜日(予定) 時間 9:30~ 会場 青洲の里、旧名手本陣など

113 劇団「華岡青洲」公演

期間 10月下旬の日曜日(予定) 時間 9:30~ 会場 青洲の里、旧名手本陣など(未定)

稻むらの火の館 濱口梧陵記念館 津波防災教育センター

梧陵六十六年の生涯をひもとき、ゆかりの空間の中で、偉大な功績や教訓、梧陵の人柄を感じさせるエピソードに出会えます。



濱口梧陵について

濱口梧陵は広村（現在の広川町）で分家濱口七右衛門の長男として生まれ、12歳の時に本家の養子となり、銚子での家業であるヤマサ醤油の事業を継ぎました。安政元年（1854年）、梧陵が広村に帰郷していた時、突如大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いました。梧陵は、稲むら（稲束を積み重ねたもの）に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して、安全な場所に避難させました。しかし、津波により村には大きな爪あとが残り、この変わり果てた光景を目にした梧陵は、故郷の復興のために身を粉にして働

き被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具等の提供をはじめ、各方面において復旧作業にあたりました。

また、津波から村を守るべく、長さ600m、高さ5mの防波堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。梧陵は、他の分野において優れた才能を發揮しました。教育面では、江戸時代末期に濱口東江、岩崎明岳とともに私塾を開設し、剣道や学業などの指導にあたりました。この私塾は後に「耐久社」と呼ばれ、変遷を経て現在の耐久高校になっています。

稻むらの火の館

梧陵の偉業と精神、教訓を学び受け継いでゆくため、2007年（平成19年）4月、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターからなる「稻むらの火の館」が誕生しました。濱口梧陵記念館では、梧陵六十六年の生涯をひもとき、ゆかりの空間の中で、偉大な功績や教訓、梧陵の人柄を感じさせるエピソードに出会えます。

津波防災教育センターでは、濱口梧陵の防災精神や、「稻むらの火」の人命尊重の精神をふまえ、来るべき津波災害から大切な生命やくらしを守ることを学びます。

文化プログラム

198 稻むらの火祭り

- 期間 10月17日(土)
会場 広川町役場～広八幡神社
時間 16:00～19:30
料金 無料



〒643-0071 有田郡広川町広 671 TEL.0737-64-1760 開館時間 10:00～17:00 (月・火曜日休館)(祝日の場合は開館)

南方熊楠記念館



南方熊楠は、和歌山県が生んだ博物学の巨星で、柳田國男と並ぶ民俗学の創始者でもあります。生涯、在野の学者に徹し、地域の自然保護にも力を注いだエコロジーの先駆者としても注目されています。記念館は、南方熊楠の遺した偉大な業績と遺徳をしのび、遺族から寄贈を受けた文献、標本類、遺品等を永久保存し、一般に公開するとともに南方熊楠を後世に伝えるため昭和40年4月に風光明媚な白浜町番所山に開館しました。本年7月頃からは新館建設のため休館しますが、別会場での特別展を計画していますので、ホームページでご確認ください。

(ホームページ <http://www.minakatakumagusu-kinenkan.jp/>)

文化プログラム

263 南方熊楠記念館 開館50周年記念特別展

期間 4月1日(水)～6月10日(水) 7月頃から休館予定

会場 南方熊楠記念館

時間 9:00～17:00 (入館 16:30迄)

料金 高校生以上 400円 (大会関係者360円)

小・中学生 200円 (大会関係者180円)

世界的博物学者・民俗学者で、日本における自然保護活動の先駆者と言われる「南方熊楠」を紹介する南方熊楠記念館開館50周年を記念する特別展。



〒649-2211 西牟婁郡白浜町3601-1(番所山) TEL.0739-42-2872 利用案内 9:00～17:00 (木曜日休館) 7月頃から休館予定



南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸



南方熊楠(1867-1941)は、博物学、宗教学、民俗学の分野における近代日本の先駆者の存在であり、同時に植物学、特に「隠花植物」と呼ばれていた菌類・変形菌類・地衣類・蘚苔類・藻類の日本における初期の代表的な研究者です。和歌山城下に生まれ、米英遊學後の明治37年から田辺に定住し、人生の半分、37年間を田辺で過ごしました。南方熊楠顕彰館は、南方熊楠邸の隣に建設され、熊楠が遺した蔵書・資料を恒久的に保存するとともに広く公開し、熊楠に関する研究を推進、情報発信しています。南方熊楠邸は、大正5年以降没するまでの25年間を過ごした場所で、この庭で新属新種の変形菌(粘菌)を発見するなど熊楠にとって大切な空間でした。顕彰館では、熊楠についての情報や学ぶ場を提供し、南方邸では熊楠の生活と研究の拠点であった場所、空間を実感していただくことができます。

233 高野山開創1200年記念 第18回特別企画展「南方熊楠と真言密教」(仮題) 田辺市合併10周年記念

238 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 特別公開

240 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 特別開館

241 第41回月例展・多屋謙吉(予定) 田辺市合併10周年記念

247 第19回特別企画展「田辺湾の生物」(仮題) 田辺市合併10周年記念

257 祝・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会! 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸無料招待

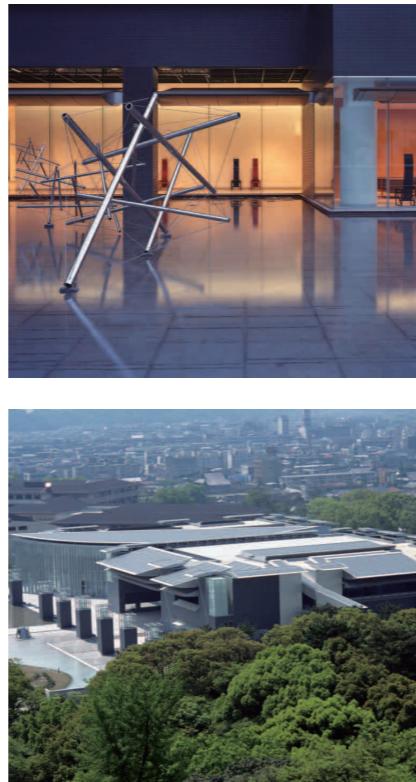
258 第42回月例展「寺石正路(予定) 田辺市合併10周年記念



〒646-0035 田辺市中屋敷町36 TEL.0739-26-9909 利用案内 10:00～17:00 (月曜日、第2・4火曜日休館)。その他、臨時開館・休館日有り)

和歌山県立近代美術館

所蔵品数は1万点を超え、郷土作家の紹介を中心とし、近現代の版画コレクションも充実。



自然と共に

1963(昭和38)年に和歌山城内に開館した和歌山県立美術館を前身とする和歌山県立近代美術館は、1970(昭和45)年、和歌山県民文化会館1階に開館しました。ここで23年間の活動を続けたあと、1994(平成6)年7月、現在の場所に新築移転しました。和歌山県立近代美術館の個性的な外観は、和歌山城の天守閣を間に望む緑豊かな環境のなかで和歌山城と美しいコントラストをなしています。建物の正面には巨大な灯籠が建ち並び、特徴的な庇を数多く設けるなど、

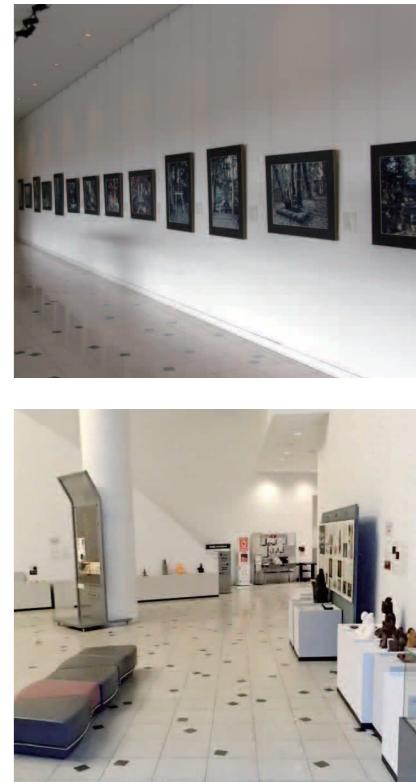
近代的な中にも日本の伝統を感じさせます。池や滝が配されている広々とした敷地には熊野古道をイメージした散策路がめぐらされ、館を訪れる人々がゆったりとくつろぎ、楽しんでもらえるような場となっています。また池の中には、天然記念物である根上がり松を背景にした野外ステージを設けて、三年坂をへだてた和歌山城との歴史のつながり、熊野をイメージした自然とのつながりを念頭に置いた「共生の思想」(黒川紀章)が反映された施設となっています。

コレクション

和歌山県は川口軌外や野長瀬晩花など、わが国の近代美術史に足跡を残している数多くの優れた美術家を生んでいます。当館では1970年の開館以来和歌山県ゆかりの作家の展覧会を開催しながら、郷土作家コレクションを充実させてきました。また和歌山ゆかりの作家には、浜口陽三や田中恭吉、恩地孝四郎など、日本の近代版画史に足跡を残している作家が多く、1980年頃から近代・現代版画の収集・紹介に力を入れ、現在では国内でも屈指のコレクションを誇っています。海外の版画についてもピカソやルドンなどの作品を所蔵しています。

和歌山県立博物館

常設展示室では3万年にわたる、きのくに一和歌山県の人々の生活と文化について展示しています。



文化プログラム

- 010 企画展「リアルのリアルのリアルの」
- 012 コレクション展 2015- 春「版画」の明治
- 024 企画展 保田春彦・龍門「2人の軌跡展」(仮称)
- 026 コレクション展 2015- 夏「くりかえしの美」
- 039 企画展「なつやすみの美術館 5」(仮称)
- 056 企画展~日本画の魅力~ 和歌山ゆかりの作家を中心に (仮称)
- 061 コレクション展 特集展示「生誕120年 逸見享」



文化プログラム

- 009 企画展「みほとけのすがた」
- 016 特別展「高野山開創と丹生都比売神社」(仮題)
- 027 企画展「きのくに・漢詩の世界」(仮題)
- 041 企画展「わかやま城探検」(仮題)
- 060 高野山開創1200年記念特別展「弘法大師と高野参詣」(仮題)



和歌山県民文化会館

和歌山県における代表的なホールであり、多くの行事が執り行われています。



文化プログラム

035 プラハ放送交響楽団

期間 7月3日(金)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30 開演(予定)
料金 S席 7,000円 A席 5,500円
B席 4,000円 C席 3,000円(予定)
1926年に創設されて以来、世界中のクラシックファンを魅了。チェコの世界遺産の街に根付いたオーケストラ演奏をお楽しみ下さい。
【問】和歌山県民文化会館 ☎ 073-436-1331



057 第2回“おとのわ”コンサート 「世界へ～音のかけ橋」

期間 9月12日(土)
会場 和歌山県民文化会館 小ホール
時間 14:00～16:00(入場13:30～)
料金 3,000円
第一部 和歌山県の海外友好提携都市の民謡及び愛唱歌の演奏。第二部 和歌山県出身石竹真礼生作曲の民謡による室内オペラを上演。
【問】音楽ユニット“おとのわ” ☎ 073-461-0386



066 紀の国わかやま国体・大会応援前夜祭 クラシックオーケストラコンサート

期間 9月24日(木)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30～20:30
料金 大人 3,000円 小・中学生 2,000円
紀の国わかやま国体・大会の開催を応援し、ゲスト秋川雅史さんを迎える。向山精二指揮による記念オーケストラ演奏会。
【問】紀の国わかやま国体・大会応援前夜祭実行委員会 ☎ 073-451-8172



067 第10回和歌山県民俗芸能祭

期間 10月3日(土)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 (未定)
料金 無料(整理券必要)
県民が長年育んできた伝統芸能を広く紹介する機会を提供し、和歌山県の文化遺産に理解を深めるイベントを開催します。
【問】和歌山県民文化会館 ☎ 073-436-1331



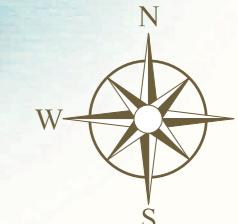
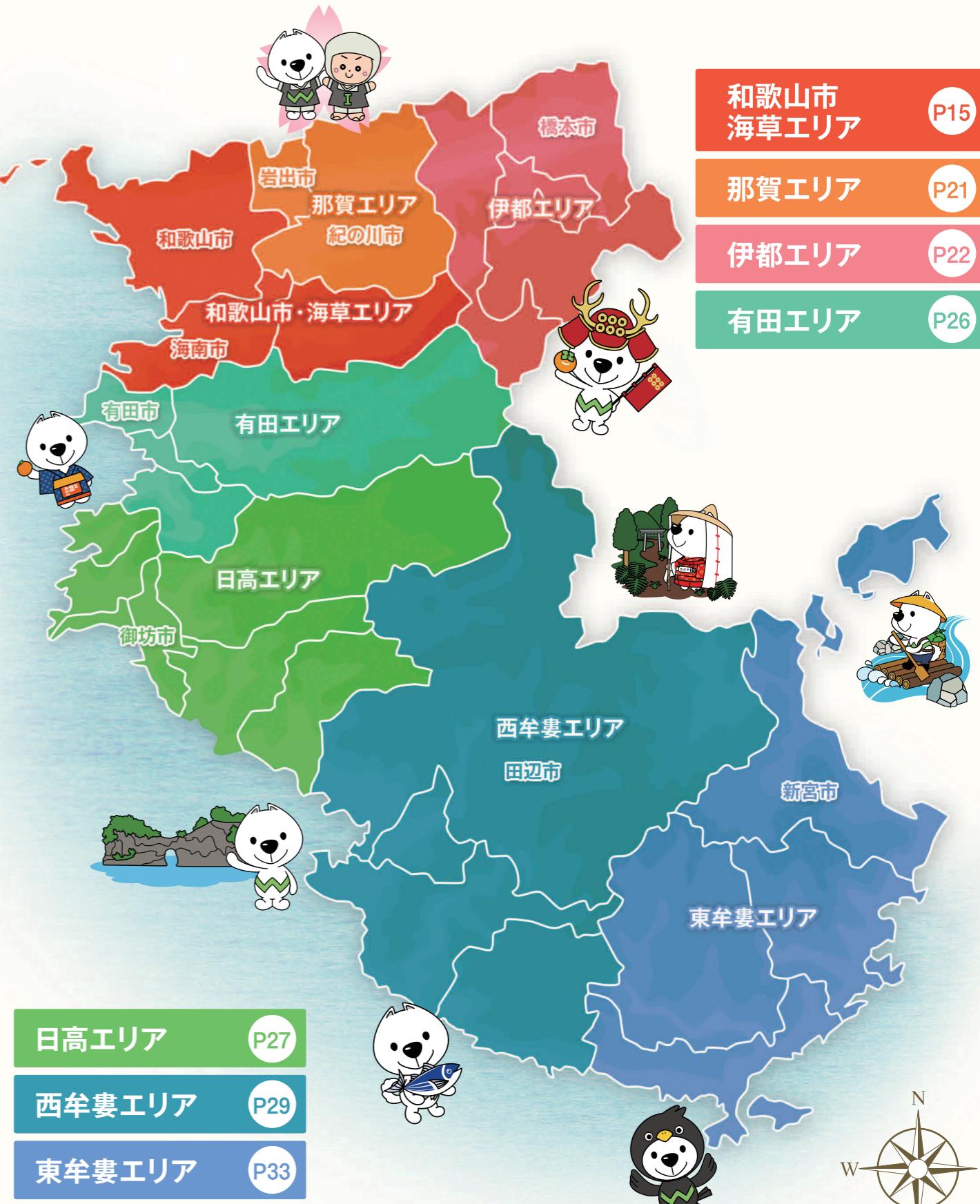
070 ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「フィガロの結婚」

期間 10月8日(木)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30 開演
料金 S席 8,000円 A席 6,500円
B席 5,000円 C席 3,500円(予定)
モーツアルトを知り尽くした歌劇場が、最高傑作「フィガロの結婚」を上演。大恋愛喜劇をオペラとオーケストラでお楽しみ下さい。
【問】和歌山県民文化会館 ☎ 073-436-1331



〒640-8269 和歌山市小松原通一丁目1番地
TEL.073-436-1331
午前9時～午後9時30分
年中無休
※ただし、年末年始(12月29日～翌年1月3日)は除く。

紀の国わかやま国体・大会 文化プログラム開催 MAP



和歌山市・海草エリア

和歌山市 001~079 海南省 080~095 紀美野町 096~101

001 和歌山城天守閣 常設展

期間 通年
会場 和歌山城天守閣
時間 9:30~17:30 (入場 17:00迄)
料金 大人 410円 小・中学生 200円
徳川三家の居城として紀州徳川家治政の基を築いてきた和歌山城。その威容と壮大さは、往時の歴史を感じさせます。
【問】和歌山城整備企画課 ☎ 073-435-1044



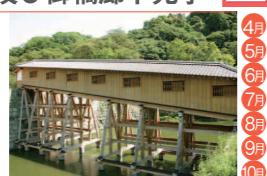
002 茶室「紅松庵」でお抹茶体験

期間 通年
会場 和歌山公園・紅葉渓庭園内(和歌山城)
時間 9:00~16:30
料金 460円
木造銅板葺きの屋根が美しい映える茶室は、昭和49年に名譽市民の故松下季之助氏により寄贈されました。抹茶と菓子が楽しめます。
【問】和歌山城整備企画課 ☎ 073-435-1044



003 名勝西之丸庭園(紅葉渓庭園)及び御橋廊下見学

期間 通年
会場 名勝西之丸庭園及び御橋廊下
時間 9:00~17:00
料金 無料
紀州徳川家初代藩主頼宣築造と伝えられる城郭庭園屈指の名園で、昭和48年に復元整備され、昭和60年には国の名勝に指定。
【問】和歌山城整備企画課 ☎ 073-435-1044



004 和歌山公園動物園

期間 通年
会場 和歌山公園動物園(和歌山城)
時間 9:00~17:00
料金 無料
全国にか所しかないお城の敷地内にある動物園。規模は小さいが無料で子供達に人気。鳥類20種81点、哺乳類13種31点を展示。
【問】和歌山城整備企画課 ☎ 073-435-1044



005 わかやまスポーツ伝承館 常設展

期間 通年
会場 わかやまスポーツ伝承館
時間 10:00~19:00 (入館 18:30迄)
料金 無料
県にゆかりのあるスポーツ選手のメダル・ユニフォーム等を紹介し、スポーツの文化や歴史を県民に伝えます。
【問】わかやまスポーツ伝承館 ☎ 073-423-2215



006 第36回市民文化まつり

期間 通年
会場 和歌山市民会館 他
時間 (未定)
料金 各イベントにより異なります。
「市民参加で文化の華を」をテーマに舞台芸術の創造力・演技力を高める為に発表の場と鑑賞の機会を提供。毎年21団体が参加。
【問】和歌山市教育委員会 文化振興課 ☎ 073-435-1194



007 和歌山市立こども科学館

期間 通年 休館日(月)
会場 和歌山市立こども科学館
時間 9:30~16:30
料金 高校生以上 300円 小・中学生 150円
(ブランケット別途観覧料必要)
こどもの科学への興味と認識を深め、科学への夢を育てるための施設として開館。「見よう、ためよう、みんなの夢」を主題に展示。
【問】和歌山市立こども科学館 ☎ 073-432-0002



008 和歌山公園桜まつり

期間 4月1日(水)~4月上旬
会場 和歌山公園(和歌山城)
時間 ライトアップは日没~22:00迄
料金 無料
和歌山公園内の桜の木をぼんぼり・提灯でライトアップ。和歌山城の白亜の天守閣を桜が淡く染め上げます。
【問】和歌山城整備企画課 ☎ 073-435-1044



009 県立博物館 企画展「みほとけのすがた」

期間 4月1日(水)~4月19日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立博物館 企画展示室
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般 280円 大学生 170円
県立博物館に収蔵されている仏像を紹介し、作品に込められた人々の仏に対する祈りのかたちに迫ります。
【問】和歌山県立博物館 総務課 ☎ 073-436-8670



010 県立近代美術館 企画展「リアルのリアルのリアルの」

期間 4月1日(水)~5月10日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立近代美術館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 大人 510円 大学生 300円 (高校生以下無料)
和歌山出身者を中心に、関西で活躍する新進気鋭の作家たちを紹介する展覧会。様々な技法や素材を使った新しい美術表現を紹介。
【問】和歌山県立近代美術館 ☎ 073-436-8690



011 紀伊風土記の丘 春期企画展「紀の川の青い石」

期間 4月1日(水)~6月14日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立紀伊風土記の丘
時間 9:00~16:30 (入館 16:00迄)
料金 大人 190円 大学生 90円
(高校生以下 65歳以上・障害手帳お持ちの方・県内外留学生無料)
結晶片岩(青石)を利用した弥生時代の石器を中心に展示します。写真パネル等により古代から現代に至るまでの利用の歴史も紹介。
【問】和歌山県立紀伊風土記の丘 ☎ 073-471-6123



012 県立近代美術館 コレクション展 2015春「版画」の明治

期間 4月1日(水)~5月24日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立近代美術館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 大人 510円 大学生 300円 (高校生以下無料)
美術館のコレクションを紹介すると共に、明治期に制作された広告などの実用的な印刷物が持つ美麗な面を紹介。
【問】和歌山県立近代美術館 ☎ 073-436-8690



013 「花百彩」キャンペーン

期間 4月1日(水)~6月30日(火)
会場 和歌山市内各施設
時間 時間は各施設による
料金 料金は各施設による
四季百景キャンペーン春のテーマは「花」。桜の名所や春のおすすめスポット、イベント情報などをパンフレットで紹介。
【問】和歌山市觀光課 ☎ 073-435-1234



014 ピティナ 室内楽コンサート

期間 4月3日(金)
会場 わかやま市民会館 小ホール
時間 18:30~20:30 (予定)
料金 2,000円
ピティナ和歌山支部が和歌山市民文化まつりの一環として開催するピアノ・ヴァイオリン・チェロのピアトリオによる演奏会です。
【問】ピティナ和歌山支部 ☎ 073-474-3330



015 古文書から探れ! 地域のみぢかな歴史

期間 4月18日(土)~5月31日(日) 休館日(月)
会場 和歌山市立博物館
時間 9:00~17:00 (入館 16:30迄)
料金 大学生以上 100円
和歌山市域に關係する良質な古文書を紹介することで、地域の歴史を物語る古文書の歴史や歴史の奥深さを伝えます。
【問】和歌山市立博物館 ☎ 073-423-0003



016 県立博物館 特別展「高野山開創と丹生都比売神社」(仮題)

期間 4月25日(土)~6月7日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立博物館 企画展示室
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 一般 510円 大学生 300円
高野山開創1200年際に、高野山の鎮守社・丹生都比賣神社に関する様々な文化財を通じて、高野山文化圏の歴史と魅力を紹介します。
【問】和歌山県立博物館 総務課 ☎ 073-436-8670



017 子どもなかよしまつり・音楽大行進

期間 5月5日(火・祝)
会場 伏虎中学校、和歌山城砂の丸公園他周辺
時間 12:00~16:00
料金 無料
子供達が精選豊かな人間として成長すること願い、五月晴れの下、和歌山公園一帯でセレモニー、パレード、催し物などを開催。
【問】和歌山市教育委員会 青少年課 ☎ 073-435-1235



018 県立図書館 室内楽定期演奏会 vol.9 田村響 ピアノ・リサイタル

期間 5月5日(火・祝)
会場 和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール
時間 未定 (2時間程度)
料金 大人 3,000円
日本を代表する若手ピアニストであり、世界で活躍中の田村響さんを迎えて開催する室内楽の定期演奏会。世界レベルの演奏です。
【問】和歌山県立図書館 ☎ 073-436-9530



019 第10回わかやまマジカルミュージックツアー

期間 5月10日(日)
会場 屋外(和歌山城他)、屋内(市内ライブハウス)
時間 屋外11:00~16:00、屋内 17:00~24:00
料金 屋外(無料)、屋内(要共通バス1,000円)
「歌があふれる街・和歌山」を合言葉に、県下の音楽を愛する人達と一緒に市民が創る一大音楽イベント。今年は和歌山・田辺同時開催。
【問】わかやまマジカルミュージックツアー事務局 ☎ 070-6503-3797



020 第53回和歌山県美術家協会展 和歌山展

期間 第1会期:5月13日(水)~18日(月)
第2会期:5月20日(水)~25日(月)
会場 和歌山県民文化会館 展示室
時間 10:00~17:00 (最終日 16:00迄)
料金 無料
和歌山県美術家協会会員による展覧会。第1会期は、「書・日本画、工芸、華道」、第2会期は、「洋画、写真、彫塑」の作品を展示。
【問】和歌山県美術家協会 ☎ 073-433-7124



021 HOMIES 5th Anniversary

期間 5月16日(土)
会場 和歌山ビッグホエール
時間 13:00~20:00 (予定)
料金 無料
「和歌山に新たな文化を」と「Edutainment(教育と娛樂の造語)」を啓発する目的で開催。ダンスやカルチャードリートに元気を。
【問】HOMIES PROJECT TEAM ☎ 073-460-0036



022 和歌浦漁港朝市「おっととつ広場」

期間 5月16日(土)
会場 和歌浦漁港
時間 10:00~14:00
料金 無料
春と秋の年2回開催されます。鮮魚販売のほか、まぐろの解体ショーを実施。特産わくわくすがる絶品。
【問】(有)ペイサイド和歌浦 ☎ 073-446-3308



023 さだまさしコンサートツアー2015

期間 5月23日(土)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 17:00 開演 (予定)
料金 大人 8,640円
幅広い世代に根強い人気を博す「さだまさし」。聴くものの全てを魅了する柔らかなメッセージとサウンドをお楽しみ下さい。
【問】和歌山県民文化会館 ☎ 073-436-1331



024 県立近代美術館 企画展保田春彦・龍門「2人の軌跡展」(仮題)

期間 5月26日(火)~7月5日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立近代美術館
時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)
料金 大人 510円 大学生 300円 (高校生以下無料)
父・龍門は、大正~昭和にかけて活躍した画家、彫刻家。息子・春彦は日本を代表する現代彫刻家。和歌山出身の2人の軌跡を紹介します。
【問】和歌山県立近代美術館 ☎ 073-436-8690



025 第71回日本ユネスコ運動全国大会 in 和歌山

期間 6月6日(土)~6月7日(日)
会場 和歌山市民会館 大ホール
時間 6月6日 12:45~17:35 6月7日 9:00~12:00
料金 一般無料
ユネスコ関係者(31歳以上 6,000円、30歳以下 3,000円)
松本零士による特別講演(予定)や、その他有識者によるパネルディスカッション、事例発表、子ども向けイベントなどを予定。
【問】和歌山ユネスコ協会 ☎ 073-435-1138



032 「海百涼」キャンペーン

期間 7月1日(水)~8月31日(月)

会場 和歌山市内各施設

時間 時間は各施設による

料金 料金は各施設による

四百景キャンペーンのテーマは「海」。市内5つの海水浴場・夏のおすすめスポット・イベント情報をパンフレットで紹介。

【問】和歌山市観光課 ☎ 073-435-1234



040 近代スポーツと国民体育大会 一紀の国わかやま国体・わかやま大会への道

期間 7月18日(土)~8月23日(日) 休館日(月)

会場 和歌山市立博物館

時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)

料金 (未定)

明治以降の近代スポーツから黒潮国体開催まで、和歌山を中心とした歴史的な流れの一端を、写真や様々な資料で紹介します。

【問】和歌山市立博物館 ☎ 073-423-0003



033 本でたどる和歌山のスポーツ

期間 7月1日(水)~10月31日(土) 休館日(月)

会場 和歌山県立図書館

時間 10:00~19:00 (土日祝 18:00迄)

料金 無料

県民の紀の国わかやま国体・わかやま大会への関心興味を高め、県外からの来館者に和歌山県をPRするため、資料や本等を展示。

【問】和歌山県立図書館 ☎ 073-436-9500



041 県立博物館 企画展「わかやま城探検」(仮題)

期間 7月18日(土)~9月6日(日) 休館日(月)

会場 和歌山県立博物館 企画展示室

時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)

料金 一般 280円 大学生 170円

和歌山城と城下町が今までたどってきた歴史を残された資料から子ども向けにわかりやすく紹介します。

【問】和歌山県立博物館 総務課 ☎ 073-436-8670



034 建築技師松田茂樹の仕事展 ~地震に耐え燃えない美しい建築物を~

期間 7月1日(水)~10月31日(土)

会場 常設展(和歌山県建築士会館)

時間 移動展(JR和歌山駅・南海和歌山市駅他)

時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)

料金 無料

県庁の設計基本計画を行った、松田茂樹氏が計画・設計検査・調査などで関わった建築物の写真パネル展示とスタンプラリーを実施。

【問】和歌山県建築士会と和歌山市支部 ☎ 073-423-2562



042 和歌山城納涼ナイター

期間 7月20日(月・祝)~8月31日(月)

会場 和歌山城天守閣

時間 17:30~20:00 (入場 19:30迄)

料金 大人 410円 小・中学生 200円

夏休み期間中、和歌山城天守閣の営業時間を通常より延長。暑さがやわらぐ夜間、天守からの涼しげな夕べを楽しんで下さい。

【問】和歌山城整備企画課 ☎ 073-435-1044



035 プラハ放送交響楽団

期間 7月3日(金)

会場 和歌山県民文化会館 大ホール

時間 18:30 開演(予定)

料金 S席 7,000円 A席 5,500円

B席 4,000円 C席 3,000円(予定)

1926年に創設されて以来、世界中のクラシックファンを魅了。チェコの世界遺産の街に根付くオーケストラ演奏をお楽しみ下さい。

【問】和歌山県民文化会館 ☎ 073-436-1331



043 紀伊風土記の丘 夏期企画展「江戸時代の考古学」

期間 7月22日(水)~8月30日(日)(予定) 休館日(月)

会場 和歌山県立紀伊風土記の丘

時間 9:00~16:30 (入場 16:00迄)

料金 大人 190円 学生 90円

(高校生以下・65歳以上・障害手帳お持ちの方・県内外留学生無料)

和歌山城下の発掘資料を中心に江戸時代の埋蔵文化財を紹介。

【問】和歌山県立紀伊風土記の丘 ☎ 073-471-6123



036 県立図書館 エントランスコンサート

期間 7月3日(金)、8月7日(金)、9月4日(金)

会場 和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール前エントランス

時間 12:00~12:30

料金 無料

図書館2階エントランスで開催するプロピアニスト等によるランチタイム時の読書環境の向上と図書館の文化芸術発信を目指します。

【問】和歌山県立図書館 ☎ 073-436-9530



044 港まつり花火大会

期間 7月中旬~下旬の一日(予定)

会場 和歌山港 中ふ頭 万トンバース

時間 20:00~21:00

料金 無料

港の安全と港湾の発展を願うとともに、港に対する关心をもってもらいため開催。今年で63回目を迎える和歌山市の夏の風物詩。

【問】港まつり実行委員会(和歌山港振興協会) ☎ 073-432-3116



037 「海鼠壁の武家屋敷・旧和歌山藩士大村孫兵衛長屋門」講演会

期間 7月5日(日)

会場 和歌山県立博物館 研修室

時間 14:00~15:30

料金 無料

和歌山城下町で唯一残っていた海鼠壁の長屋門についての講演会。会場では、パネルや資料を解りやすくユニークな展示。

【問】和歌山県建築士会と和歌山市支部 ☎ 073-423-2562



045 おどるんや~第12回紀州よさこい祭り~

期間 7月26日(日)、8月1日(土)、8月2日(日)

会場 和歌山城砂の丸広場他

時間 (未定)

料金 無料

和歌山を「ゲンキ」に! 目的に始まり、年々盛んになっている祭り。ぶんだら節、港まつりと共に和歌山市夏の三大イベントの一つ。

【問】NPO 紀州お祭りプロジェクト ☎ 073-426-4424



038 講演会「紀州の忍術で社会を明るく!」~「正忍記」から学ぶ現在社会を生きる知恵~

期間 7月12日(日)

会場 和歌山県立博物館 研修室等

時間 講演会14:00~15:30 忍者体験等15:45~17:00

料金 無料

日本三大忍術伝書「正忍記」から、円満な人間関係づくりやストレス解消などを解りやすく解説する講演。他に忍法体験も実施。

【問】和歌山保護観察所内 和歌山市BBS会事務局 ☎ 073-436-2501



046 県立図書館 サマー遊ing

期間 7月30日(木)~8月2日(日)

会場 和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール 他

時間 10:00~15:00(各日とも)

料金 無料

生涯学習ボランティアやNPO等が実施する、大人から子供まで幅広い世代を対象とした学びの場で、体験活動や講演会を催します。

【問】和歌山県立図書館 ☎ 073-436-9530



039 県立近代美術館 企画展「なつやすみの美術館5」(仮称)

期間 7月14日(火)~8月30日(日) 休館日(月)

会場 和歌山県立近代美術館

時間 9:30~17:00 (入館 16:30迄)

料金 大人 510円 大学生 300円 (高校生以下無料)

夏休み中の子供達が、美術に触れるきっかけを作ってきた夏休み向け展示企画の5回目。子供も大人も、夏のひとときを美術館で。

【問】和歌山県立近代美術館 ☎ 073-436-8690



047 紀州おどり「ぶんだら節」

期間 8月1日(土)

会場 けやき通り、西の丸広場

時間 17:00~21:00

料金 無料

昭和44年に始まり、毎年6,000人を超える踊子が紀伊国屋文左衛門にならなった紀州おどりで、市内中心けやき通りを練り歩きます。

【問】和歌山市観光課 ☎ 073-435-1234



048 和歌山ジャズプレイヤーズ協会 定期演奏会

期間 8月9日(日)

会場 和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール

時間 13:00~18:00

料金 大人 1,000円 子ども 500円

和歌山でJAZZ好きなプレイヤーが集まって、「何かやろうよ!」の会ができる15年目。今回も協会加盟バンドによる演奏会を開催。

【問】和歌山ジャズプレイヤーズ協会事務局 ☎ 073-451-8172



049 レニングラード国立舞台サークス

期間 8月10日(月)

会場 和歌山県民文化会館 大ホール

時間 1部13:00 開演 2部16:00 開演(予定)

料金 大人 2,500円(予定)

スリルと迫力満点の空中ブランコに可愛い熊の曲芸。陽気なビロや息をのむアクロバット等、本格的な舞台サークスを開催します。



064 紀の国水中写真展

期間 9月22日(火・祝)~10月4日(日) 9月28日(月)休館
会場 ギャラリー&カフェ AQUA
時間 10:00~17:00
料金 無料
世界遺産・大自然の恵み、豊富な観光資源をもつ和歌山県。そんな県内の海や川で、大勢の人が撮影した水中写真約100点を展示。



072 フラメンコの祭典2015 in 和歌山ボルトヨーロッパ

期間 10月11日(日)~10月18日(日)
会場 和歌山マリーナシティボルトヨーロッパ
時間 11:00~16:00
料金 屋外無料(シアター 大人 2,000円、子ども 500円、
大会関係者(大人) 1,000円(予定))
フラメンコの踊りをボルトヨーロッパ「噴水広場」にて華やかに再現。シア
ターでは、迫力のフラメンコショーを情熱的に展開。
【問】和歌山フラメンコ協会 ☎ 073-402-4331



065 第43回和歌山県新人演奏会

期間 9月23日(水・祝)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 13:00 開演(予定)
料金 大人 1,000円(予定)
和歌山ゆかりのある優れた新進演奏家を広く皆様にご紹介するクラ
シック演奏会を開催します。



073 親子でコンサートに行こう

期間 10月12日(月・祝)
会場 和歌山県民文化会館 小ホール
時間 (未定)
料金 大人 1,000円 子ども 500円(予定)
0歳から入場可能。乳幼児から大人まで、幅広く良質な音楽を聴いて頂
けるコンサートを開催。親子みんなで素敵な音楽を楽しもう。



066 紀の国わかやま国体・大会応援前夜祭 クラシックオーケストラコンサート

期間 9月24日(木)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30~20:30
料金 大人 3,000円 小・中学生 2,000円
紀の国わかやま国体・大会の開催を応援し、ゲスト秋川雅史さんを迎え、
向山精二指揮による記念オーケストラ演奏会。



074 第2回和歌山ハワイアンフラコンサート

期間 10月12日(月・祝)
会場 和歌山市民会館 小ホール
時間 13:00~16:00
料金 無料
和歌山ハワイアン・フラ協会の各教室・サークルによるフラダンスやタヒ
チアンダンスのコンサート。ハワイアンショップも出店。



067 第10回和歌山県民俗芸能祭

期間 10月3日(土)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 (未定)
料金 無料(整理券必要)
県民が長年育んできた伝統芸能を広く紹介する機会を提供し、和歌山県
の文化遺産に理解を深めるイベントを開催します。



075 紀ノ国の女王伝説・現代に甦る名草戸畔

期間 10月17日(土)(予定)
会場 和歌山県立図書館 メディア・アート・ホール(予定)
時間 第1部 14:00~15:00 第2部 15:15~16:15
料金 1,000円(大会関係者 500円)
名草戸畔(なぐさとべ)の伝承をもとに、一部は作者なかひらまいさんの
講演会、二部は劇団「ZERO」による演劇公演を行います。



068 ワンコインコンサート vol.5

期間 10月3日(土)
会場 和歌山県民文化会館 小ホール
時間 (未定)
料金 500円
和歌山ゆかりの演奏家による、本格的クラシック演奏をワンコイン(500
円)で気軽に楽しめるコンサートを開催します。



076 まちなかキャンドルルイルミネーション・竹燈夜

期間 10月17日(土)~10月18日(日)
会場 和歌山城内、モンティグレ、
本町通り沿いまちなか会場、加太会場
時間 18:00~21:00
料金 無料
竹とキャンドルを組み合わせて作った約8,000本の灯籠を並べ、和歌山
城まちなかを幻想的な灯りで包む秋の風物詩。



069 紀伊風土記の丘 秋期特別展「紀伊の地、大いに震ふ」

期間 10月3日(土)~12月6日(日)(予定) 休館日(月)
会場 和歌山県立紀伊風土記の丘
時間 9:00~16:30 (入場 16:00迄)
料金 大人 350円 大学生 210円
(高校生以下・65歳以上・障害手帳お持ちの方・県内外留学生無料)
自然災害の驚異を考古学の成果をもとに紹介し、人間と自然がどう関わっ
てきたのかを、県内发掘の埋蔵文化財をはじめとして展示。



077 和歌山公園菊花展

期間 10月中旬~11月上旬(予定)
会場 和歌山公園(和歌山城)
時間 9:00~17:00
料金 無料
和歌山市菊の会が丹精込めて育てた、約380鉢の菊花が和歌山城とま
ちなかを幻想的な灯りで包む秋の風物詩。



070 ポーランド国立ワルシャワ室内歌劇場オペラ「フィガロの結婚」

期間 10月8日(木)
会場 和歌山県民文化会館 大ホール
時間 18:30 開演
料金 S席 8,000円 A席 6,500円
B席 5,000円 C席 3,500円(予定)
モーツアルトを知り尽くした歌劇場が、最高傑作「フィガロの結婚」を上演。
大恋愛喜劇をオペラとオーケストラでお楽しみ下さい。



071 第17回万葉薪能

期間 10月11日(日)
会場 片男波公園野外ステージ
(雨天時は健康館アリーナ)
時間 16:00~19:00
料金 前売:一般 3,000円 学生 1,000円/当日 500円UP
(大会関係者大人 2,000円 学生無料 ※当日券のみ)
白砂青松の景観・片男波海岸の夕日を背景に、一部では能のワークショ
ップ、二部では大戲狂言・蚊相撲と喜多流能・巻絆を上演。



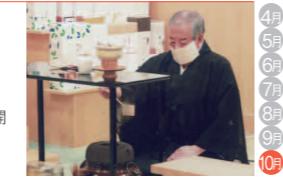
078 第15回マジックフェスティバル

期間 10月25日(日)
会場 和歌山市民会館 大ホール
時間 13:00~16:00
料金 無料
和歌山のアマチュアマジックグループ1年回の発表会です。和歌山市民
文化まつりにマジックフェスティバルとして参加しています。



079 (一社)表千家同門会和歌山県支部設立60周年記念 紀州東照宮献茶式

期間 10月25日(日)
会場 紀州東照宮、和歌山市民会館
時間 10:00~15:00
料金 献茶式出席は有料(事前申込必要)
表千家御家元・妙常宗匠ご奉仕による献茶式を紀州東照宮にて開
催。同時に拝服席で濃茶、和歌山市民会館で副席を催します。



080 紀州漆器伝統産業館 常設展

期間 通年 休館日(第2日曜日)
会場 紀州漆器伝統産業館(うるわし館)
時間 10:00~16:00
料金 無料(蒔絵体験は有料)
紀州漆器でつくられたお盆や重箱、アクセサリーなどのほか、製造工程に
係るパネルを展示。工芸士の指導による蒔絵体験も実施。



088 かいなん夢風鈴まつり

期間 8月上旬(予定)
会場 JR海南駅西側広場 各神社など
時間 (未定)
料金 無料
地場産業である漆器の技法をガラスに施した蒔絵風鈴づくりのほか、風
鈴が吊るされたポイントを巡るスタンプラリーなどを開催。



081 海南軽トラ市

期間 通年(毎月第2日曜日開催)
会場 JR海南駅西側広場
時間 9:00~11:00
料金 無料
軽トラックまたは軽車両の荷台において、生産者が自ら農産物を販売す
る地元市。海南の食文化・生活文化を体験できます。



089 ふるさと海南まつり

期間 8月13日(木)(予定)
会場 JR海南駅西側広場
時間 15:00~21:00
料金 無料
海南市の夏の大イベント。海南ソーラン踊り、吹奏楽演奏、ダンス、
子どもみこしなど、各種イベントを開催。



090 下駄市

期間 8月14日(金)
会場 海南省黒江の川端通り
時間 18:00~22:00
料金 無料
江戸時代、漆器職人の親方が帰省する丁稚が下駄を買ったのが始まり。
下駄づくり体験のほか、浴衣姿コンテストなどを開催。



091 下津ふるさとまつり

期間 8月16日(日)
会場 下津小学校運動場
時間 18:00~21:00(予定)
料金 無料
海南市下津地区で行われる夏祭りです。ステージでのイベントや盆踊り、
ゲーム大会、抽選会などが行われ大勢の人々が集まります。



093 みかん祭り

期間 4月5日(日)
会場 橘本神社
時間 11:00~13:00
料金 無料
みかんとお菓子の神様「田道間守」を奉る橘本神社のお祭りです。全国
から多くの菓子業者が参加し、多数のお菓子が奉納されます。



094 泉神社「春まつり」の大餅投げ

期間 5月3日(日)
会場 立神神社
時間 10:30~16:00
料金 無料
商賈繁盛・豊作、厄除けを祈願して行われる神社の祭り。式典後、約1
時間半続く大餅投げは、県下最大級。



092 海南省美術展

期間 10月3日(土)~10月11日(日)
会場 海南保健福祉センター
時間 9:00(初日 11:00)~17:00(最終日 15:00)
料金 無料
市民から応募のあった洋画、日本画、書道、写真、工芸・手芸品の5部
門における作品を展示。



095 きのくに海南歩とウォーキング

期間 5月23日(土)~5月24日(日)
会場 海南省総合体育館
時間 9:00~12:00
料金 海南省内在住者 500円、市外在住者 1,000円
豊かな自然と歴史、文化のまち海南を「歩く+食べる+楽しむ」をテーマに
由緒ある神社や観光名所を巡るウォーキングイベント。



093 みかん祭り

期間 10月11日(日)
会場 橘本神社
時間 13:00~15:00
料金 無料
みかんとお菓子の神様「田道間守」を奉る橘本神社のお祭り。みかんの
豊作と商売繁盛を願い、みかんやお菓子が奉納されます。



096 馬鈴薯音楽会

期間 6月上旬(日)(予定)
会場 JR海南駅西側広場
時間 (未定)
料金 無料
昭和50年に海南第2中学校OB吹奏楽団として発足。その後はOBだ
けでなく幅広い音楽が好きな仲間が増え、現在に至っています。



097 泉神社「泣き狂言」

期間 10月11日(日)
会場 山路王子神社
時間 12:00~15:00
料金 無料
400年以上も前から伝統行事「泣き狂言(奉納花相撲)」。子どもの
背中に土をつけること、病気にならないとの言い伝えがある。



098 県立自然博物館特別展 「水辺で生きる昆蟲」-和歌山の水生昆虫大集合-

期間 7月18日(土)~8月30日(日) 休館日(月)
会場 和歌山県立自然博物館
時間 9:00~17:00(入場 16:30迄)
料金 一般・大学生 470円
和歌山県に分布する水生昆蟲を生体や標本、画像等を用いて幅広く展
示するほか、水生昆蟲の意外な性質や採集方法などを紹介。



099 海南省下津町総合文化祭

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
会場 海南市民交流センター・拝待体育館
時間 10:00~16:30(最終日 16:00迄)
料金 無料
海南省下津地域における総合文化祭。各種団体による舞台発表、小学
生管弦楽演奏、各種芸術作品の展示が行われます。





096 みさと天文台 常設展

期間 通年 休館日(火)
会場 みさと天文台
時間 13:00~(水)17:00 (木)19:30 (金土)20:30
料金 見学無料(観望会 有料)
日本屈指の大型望遠鏡を使い、土星の環や月のクレーター、星雲・星団など日常では目にすることが出来ない「ほんまもん体験」。
【問】みさと天文台 ☎ 073-498-0305



103 名手宿本陣 常設展示

期間 通年 休館日(火)
会場 名手宿本陣
時間 10:00~16:00
料金 無料
華岡青洲の妻、加恵の実家としても知られ、主屋、座敷部が保存。国指定重要文化財・国指定史跡。別称「名手本陣妹背家住宅」。
【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎ 0736-77-2511



097 文化協会展・芸能発表会

期間 4月18日(土)~4月19日(日)
会場 紀美野町中央公民館
時間 9:00~17:00
料金 無料
文化協会員による日本画や洋画などの作品展示、芸能発表のほか、お茶会などが開催されます。
【問】紀美野町教育委員会 生涯学習課 ☎ 073-489-5915



098 生石高原山開き

期間 4月29日(水・祝)
会場 県立自然公園生石高原
時間 11:00~14:00
料金 無料
登山者の安全祈願と自然に対する感謝の意味を込め、山開き式を開催。その他、太鼓演奏などを実施。
【問】県立自然公園生石高原観光協会 ☎ 073-489-2430



099 レラシオン・セラミカ

期間 7月4日(土)~9月27日(日)の土日祝開催
会場 主会場ギャラリー・ハヂ
時間 11:00~17:00
料金 無料
2008年より日本・スペイン両国で始まった「現代陶芸」をテーマとするアートプロジェクトです。交流芸術祭を国体と連携し開催。
【問】銀聲舎 ☎ 070-5500-9003



100 ペルセウス座流星群特別観望会

期間 8月14日(金)
会場 紀美野町文化センター駐車場
時間 22:00~5:00
料金 無料
三大流星群の一つ「ペルセウス座流星群」の特別観望会。新月の8月14日は、月の明かりに邪魔されず観望できる好条件。
【問】みさと天文台 ☎ 073-498-0305



101 きみの夏祭り

期間 8月15日(土)
会場 紀美野町文化センター 木のぬくもり広場
時間 16:00~
料金 無料
音が山間に反響した迫力満点で幻想的な花火を間近で体感。盆踊り、ステージイベントのほか各団体の催し物を実施。
【問】きみの夏祭り実行委員会 ☎ 073-489-3260



那賀エリア

紀の川市 102~113 岩出市 114~122

102 旧南丘家住宅 常設展示

期間 通年
会場 旧南丘家住宅
時間 10:00~16:00(要予約)
料金 無料
江戸末期の紀州藩鷹狩役人の「粉川住顕差」の住宅。主屋は紀の川市の文化財に指定されており、離れは鷹狩について展示。
【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎ 0736-77-2511



109 子ども夢のくに

期間 8月下旬の土曜日又は日曜日(予定)
会場 紀の川市那賀総合センター
時間 9:00~12:00
料金 大人 200円(三歳児未満無料)
クラフト体験コーナー、縁日コーナー、おやつコーナー、チャレンジコーナーなど、子供たちにいろいろな場面を提供します。
【問】紀の川市那賀総合センター ☎ 0736-75-2221



110 紀の川市メイヤーズカップ2015

期間 9月又は10月の土日2日間(予定)
会場 紀の川竹房橋河川敷
時間 8:15~18:00
料金 見学無料(参加は有料)
紀の川フライトパークに、全国の愛好家が集合。スカイスポーツと紀の川流域の活性化・更なる発展を願って実施される競技です。
【問】フライトイン紀の川実行委員会 ☎ 0736-77-7088



111 三船神社秋祭り

期間 10月18日(日)
会場 三船神社及び古宮
時間 10:00~16:00
料金 無料
「虎松踊り」が奉納されるなど市の無形民俗文化財。国の重要文化財指定の建物3棟は檜皮葺きの屋根と極彩色で華麗。
【問】三船神社 ☎ 0736-66-1620



その他イベント部門

112 青洲まつり

期間 10月下旬の日曜日(予定)
会場 青洲の里、旧名手本陣など
時間 9:30~
料金 無料
医聖・華岡青洲の偉業を称え後世に継承していく祭り。演劇、時代行列、うまいもん横丁などの各種イベントを開催。
【問】青洲まつり実行委員会 ☎ 0736-77-2511



113 劇団「華岡青洲」公演

期間 10月下旬の日曜日(予定)
会場 青洲の里、旧名手本陣など(未定)
時間 9:30~
料金 無料
有吉佐和子原作・オリジナル脚本による「華岡青洲の妻」の公演。世界で初めて乳癌の手術をした青洲の人となりを観劇ください。
【問】紀の川市教育委員会 生涯学習課 ☎ 0736-77-2511



114 岩出市民俗資料館 常設展示

期間 通年 休館日(火)
会場 岩出市民俗資料館
時間 9:00~17:00(入場 16:30迄)
料金 無料
「岩出市の風土と暮らしの移り変わり」を基本的なテーマとして、岩出の自然環境と歴史的・文化的の独自性を演出した展示。
【問】岩出市民俗資料館 ☎ 0736-63-1499



115 第2回ハワイアンフラダンスショー

期間 5月17日(日)
会場 和歌山県植物公園 緑花センター
時間 10:00~16:00
料金 無料(緑花センター入場料 高校生以上 200円 小・中学生 100円)
和歌山県内のハワイアンが大集結する一日です。見て、聞いて、踊って、楽しい。南国ハワイの雰囲気を存分に楽しんで下さい。
【問】和歌山ハワイアンフラ協会 ☎ 073-473-8122



116 室井滋&長谷川義史トークライブ

期間 8月23日(日)
会場 岩出市立総合体育館小ホール
時間 (未定)
料金 大人 1,500円(予定)
テレビでお馴染みの個性派女優と児童書や絵本作家である長谷川義史氏とのトークライブ。家族そろってお楽しみいただけます。
【問】和歌山県民文化会館 ☎ 073-436-1331



117 いわで夏まつり

期間 8月29日(土)(予定)
会場 大宮緑地総合運動公園
時間 16:00~20:30
料金 無料
大迫力の花火大会のほか、いわで楽市や根来鉄砲隊の演武、岩出おどり、各種団体バザーなどを開催。
【問】いわで夏まつり実行委員会事務局 ☎ 0736-62-2141



118 緑花センター 秋の盆栽展

期間 10月2日(金)~10月4日(日) 休園(火)
会場 和歌山県植物公園 緑花センター
時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
花と緑がいいばいで自然の美しさが楽しめる憩いの場所です。県内にて活動を行う緑風盆栽会の協力を得て、盆栽の展示を行います。
【問】和歌山県植物公園 緑花センター ☎ 0736-62-4029



伊都エリア

橋本市 123~146 かつらぎ町 147~155 九度山町 156~170 高野町 171~177



121 緑花センター 小品盆栽展

期間 10月10日(土)~10月12日(月・祝) 休園(火)
会場 和歌山県植物公園 緑花センター
時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
花と緑がいいばいで自然の美しさが楽しめる憩いの場所です。県内にて活動する木の子クラブと和歌山の協力で小品盆栽の展示を開催。
【問】和歌山県植物公園 緑花センター ☎ 0736-62-4029



122 緑花センター 森のキノコ展

期間 10月24日(土)~10月25日(日) 休園(火)

会場 和歌山県植物公園 緑花センター
時間 9:00~17:00(最終日 16:30迄)
料金 高校生以上 250円 小・中学生 100円
花と緑がいいばいで自然の美しさが楽しめる憩いの場所です。県内にて活動する木の子クラブと和歌山の協力で森のキノコの展示を開催。



123 パイル織物資料館 常設展

期間 通年 休館日(土・日・祝)

会場 パイル織物資料館
時間 事前予約必要
料金 見学無料・体験有料
パイル織物や再織の作業工程、天皇陛下に献上された再織を展示。約2時間の再織体験もできます。



124 橋本市郷土資料館 常設展

期間 通年 休館日(月)

会場 橋本市郷土資料館
時間 9:00~17:00
料金 無料
衣食住や生業・信仰・年中行事などの民族資料、仏像・仏画などの仏教芸術、以及橋本市先人の偉業などの資料を展示紹介。



125 あさもし歴史館 常設展

期間 通年 休館日(月)

会場 あさもし歴史館
時間 9:00~17:00
料金 無料
繩文や弥生時代の土器、白鳳時代の名古曾、神野々の廐瓦寺の瓦などを展示。そのほか、企画展、体験学習、歴史講座等を開催。

博物展部門

芸術展部門

舞台・コンサート部門

その他イベント部門



126 前田邸 常設展

期間 通年(日曜日のみ開館)
会場 前田邸
時間 10:00~15:00
料金 無料
旧大和街道古い江戸時代に建てられた商家の邸宅。「坂の上の雲」の木将軍直筆と伝えられる漢詩や明治~昭和の収蔵品を展示。
【問】橋本市観光協会 ☎ 0736-33-3552



134 恋野あじさいまつり

期間 6月中(予定)
会場 恋野あじさい園
時間 9:00~15:00
料金 無料
中将姫伝説が伝わる恋野地区「恋し野の里」にあるあじさい園で行われ、米、野菜、手づくりパンなど地場産品も販売されます。
【問】恋野地区公民館 ☎ 0736-33-2458



127 利生護国寺(国指定重要文化財)

期間 通年
会場 利生護国寺
時間 8:00~17:00
料金 境内無料
聖武天皇が行基に命じて建てた朱柱が映える美しい寺院。荘厳な本堂は国指定の重要文化財。2年に一度、「大茶盛」が催される。
【問】利生護国寺 ☎ 0736-32-2123



135 紀見北8区合同夏祭り

期間 7月25日(土)(予定)
会場 三石台グラウンド
時間 17:30~21:00(予定)
料金 無料
夏の一夜、地域住民が一堂に会し、親睦と交流を深め、地域連帯感の醸成に努めるまつり。盆踊り、模擬店、ゲームなどを楽しめます。
【問】夏祭り実行委員会 ☎ 0736-37-2867



128 アザレア映画鑑賞会

期間 通年(6~8回程度)
会場 橋本市産業文化会館アザレア
時間 (未定)
料金 有料(500円~700円)
年間6~8回程度開催される映画鑑賞会。ワンコイン(500円)で2本見ることができる優秀映画鑑賞会なども開催。
【問】橋本市産業文化会館アザレア ☎ 0736-42-5070



136 紀の川橋本 SUMMERBALL

期間 8月1日(土)(予定)
会場 南馬場緑地広場グラウンド
時間 15:00~21:00(予定)
料金 無料
紀の川祭りと紀の川カッパ祭りが一つになった新しいお祭りです。ステージイベント、いろいろな出店、花火大会などを楽しめます。
【問】紀の川橋本 SUMMERBALL 実行委員会 ☎ 0736-32-0004



129 第8回橋本市高野口公園桜まつり

期間 4月5日(日)
会場 高野口公園
時間 10:00~16:00
料金 無料
紀の川筋隨一の桜の名所として有名。太鼓演奏や紀の国やっちゃん踊りなどのほか、開花時には夜桜も楽しめます。
【問】橋本市高野口公園桜まつり実行委員会 ☎ 0736-33-1111



137 第15回橋本市教育フォーラム

期間 8月8日(土)
会場 橋市民会館他
時間 9:00~(予定)
料金 無料
「学校・家庭・地域みんなで考える子育てネットワーク」をテーマに、市内教職員や一般の方々を対象とした教育について語らう場。
【問】橋本市教育委員会 ☎ 0736-33-6115



130 みどりのさくらまつり

期間 4月中旬土曜日(予定)
会場 城山台中央公園
時間 12:00~15:00
料金 無料
緑色の花を咲かせる珍しい御衣黄が、4月中旬頃見頃を迎える。そのほか、大道芸や歌のイベントなどを開催。
【問】紀見地区公民館 ☎ 0736-37-2302



138 嵐谷の神踊り(県指定無形民俗文化財)

期間 8月15日(土)
会場 若宮八幡神社
時間 14:00~
料金 無料
15歳から25歳迄の独身の男子が清淨な衣装をつけ、古風な歌に合わせ各家庭の願い事、五穀豊穣、家内安全を祈願する素朴な踊り。
【問】橋本市観光協会 ☎ 0736-33-3552



131 子安地蔵寺の藤見学

期間 4月下旬~5月上旬
会場 子安地蔵寺
時間 8:00~17:00
料金 藤シーズンのみ 300円
安産祈願所として信仰され、紀州徳川家の祈願寺でも有名。境内には四季折々に花が咲き1年を通じて楽しむことができます。
【問】子安地蔵寺 ☎ 0736-34-2487



139 光三宝荒神社の献灯祭

期間 9月3日(木)
会場 光三宝荒神社
時間 18:00~20:30
料金 無料
日本三大荒神の一つとされる光三宝荒神社で行われる献灯祭。境内に約2万本の蠟燭と灯籠に火が灯され、幻想的な雰囲気を演出。
【問】光三宝荒神社 ☎ 0736-32-7484



140 隅田八幡神社の秋祭り

期間 10月3日(土)~10月4日(日)
会場 隅田八幡神社周辺
時間 10月3日14:30~ 10月4日11:00~
料金 無料
県指定無形民俗文化財・プレミアム和歌山觀光資産認定のお祭り。祭典の後、大人約100人が担ぐだんじりの宮入り、渡御が見所。
【問】隅田八幡神社 ☎ 0736-32-0188



141 橋本だんじりまつり

期間 10月10日(土)~10月11日(日)
会場 橋本市各地、JR・南海橋本駅前、市民会館前
時間 10月10日14:00~ 10月11日12:00~
料金 無料
県指定文化財に登録された舟船車を始め、市内11地区のだんじりが市役所周辺に集結。演舞やパレードが行われ、見物客で賑わう。
【問】橋本だんじり協議会 ☎ 0736-32-0247



142 橋本市歩行者天国

期間 10月11日(日)
会場 JR高野口駅前大通り
時間 11:30~16:00
料金 無料
高野口駅前大通りが歩行者天国に。露店やフリマ、特設ステージではやっちゃん踊りや太鼓の演奏等、楽しい催し物が一杯です。
【問】高野口地区公民館 ☎ 0736-33-3111



150 かつらぎ町美術展

期間 6月19日(金)~6月21日(日)
会場 かつらぎ総合文化会館
時間 8:00~17:00(最終日 6月20日 18:00迄)
料金 無料
華道・写真・書・日本画・洋画の各部門から選出された郷土の素晴らしい作家達の作品を展示。
【問】かつらぎ町教育委員会 生涯学習課 ☎ 0736-22-0303



143 高野口地区公民館文化祭

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
会場 橋本市産業文化会館アザレア
時間 9:00~12:00(10月25日は17:00迄)
料金 無料
高野口地区公民館で活動しているサークル・団体の年一回の発表の場です。コラス・ダンスなどの舞台発表、絵画・書などの展示。
【問】高野口地区公民館 ☎ 0736-33-3111



151 星空のつどい

期間 8月15日(土)(予定)
会場 花園新子金剛緑地広場
時間 18:00~22:00(予定)
料金 無料
山々に大きく響く爆音が迫力の花火大会。当日は盆踊り大会などのイベントや夜店の出店もあり、町外・県外からも沢山の人参加。
【問】かつらぎ町役場花園支所 地域振興課 ☎ 0737-26-0321



144 橋本市ふる里よいとこ探し ナチュラルブレイク

期間 10月25日(日)
会場 杉村公園
時間 10:00~15:00
料金 無料
橋本市杉村公園の自然の中で、音楽会の開催や環境保全の啓発を行う地域の文化イベント。
【問】ふる里よいとこ探しナチュラルブレイク実行委員会 ☎ 0736-37-2302



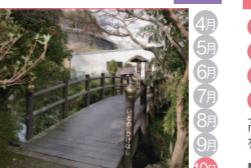
145 橋本市民菊花展

期間 10月下旬~11月上旬(予定)
会場 杉村公園
時間 9:00~16:00(予定)
料金 無料
県下最大の菊の展覧会。市内外を問わず、菊愛好家をはじめ小中学校や福祉施設からの出展もある毎年恒例の展覧会。
【問】橋本市民菊の会 ☎ 0736-32-3552



146 中将姫旧跡ラブリーウォーク

期間 10月~11月
会場 市内各コース
時間 (未定)
料金 無料
恋野地区で、中将姫伝説にまつわる史跡を巡るウォーキング。糸の懸け橋、雲雀山の碑、中将倉、中将が森、念佛寺等を回ります。
【問】恋野地区公民館 ☎ 0736-33-2458



147 小原洞窟恐竜ランド(小原鉱山跡洞窟体験)

期間 通年(10月~2月は木曜日休館)
会場 小原洞窟恐竜ランド
時間 9:00~17:00
料金 高校生以上800円 4歳以上中学生迄500円
迷路のような洞窟を体験できる「洞窟ラビリンス」。突然現れる恐竜の大音声や照明で太古の昔にタイムトリップ。
【問】小原洞窟恐竜ランド ☎ 0737-26-0836



148 丹生都比売神社 花盛祭(はなもりさい)

期間 4月19日(日)
会場 丹生都比売神社
時間 10:00~16:00
料金 無料
春の大祭で、ご祭神に花を供え春の訪れを寿ぐ祭。沿道には竹筒を立て花を飾る。雅楽演奏、渡御の儀などが行われる。
【問】丹生都比売神社 ☎ 0736-26-0102



149 かつらぎ町 歴史・文化講座

期間 5月17日(日)
会場 かつらぎ総合文化会館 AVホール
時間 13:30~15:30
料金 無料
「三谷薬師堂の丹生明神像と丹生都比賣神社」を演題とする講演会。講師は県立博物館学芸員の大河内智之氏。
【問】かつらぎ町教育委員会 生涯学習課 ☎ 0736-22-0303



152 第41回仲間と踊ろう郷土の夕べ

期間 8月29日(土)
会場 和歌山県立紀北青少年の家
時間 19:00~22:00
料金 無料
伊都地区に伝わる郷土民謡、地踊りを保存・伝承し、郷土意識の高揚と、伝統文化の普及・発展を兼ねて毎年開催。模擬店もあり。
【問】仲間と踊ろう郷土の夕べ実行委員会 ☎ 0736-22-5530



153 かつらぎ夏まつり

期間 8月下旬の土曜日(予定)
会場 かつらぎ公園グラウンド
時間 18:00~22:00(予定)
料金 無料
フルーツ王国かつらぎを内外にPR。町民がぞぞって参加する祭。夜店、花火、盆踊り、ダンスサークルや太鼓クラブの発表も有り。
【問】かつらぎ夏祭り実行委員会 ☎ 0736-22-0300



154 平成のご造営竣工記念 丹生都比売神社収蔵庫公開

期間 9月14日(月)~12月13日(日)(未定)
会場 丹生都比売神社
時間 (未定)
料金 (未定)
高野山開創1200年にあたる本年、非公開の丹生都比売神社収蔵庫を特別公開。鍍金装神輿や木造の狛犬などを展示しています。
【問】丹生都比売神社 ☎ 0736-26-0102



155 第31回伊都管楽アンサンブル 定期演奏会

期間 10月中旬の日曜日(未定)
会場 かつらぎ総合文化会館 大ホール
時間 14:30~(予定)
料金 無料
かつらぎ町妙寺地区で活動を続ける音楽団体による定期演奏会です。
【問】かつらぎ町教育委員会 生涯学習課 ☎ 0736-22-0303



156 紙遊苑企画展「スイセン展」

期間 4月1日(水)~4月24日(金) 休館日(月・火)
会場 紀州高野紙伝承体験資料館紙遊苑
時間 9:00~16:30
料金 無料
東日本大震災や紀伊半島大水害からの復興を願い、ヨーロッパでは希望の花と言われる水仙を約250株苑内に展示。
【問】九度山町教育委員会 社会教育課 ☎ 0736-54-4670



157 町家の人形めぐり

期間 4月1日(水)~5月5日(火・祝)
会場 真田のみち周辺
時間 終日
料金 無料
町内約70軒の商店や

158 こいのぼり丹生川渡し

期間 4月上旬～5月上旬(予定)
会場 九度山橋付近
時間 終日
料金 無料

九度山を流れる丹生川の約100mの川幅に、子供達の健やかな成長を願い、約100匹の鯉のぼりが泳ぎます。

【問】九度山町商工会 ☎ 0736-54-4268



166 九度山町 夏祭り

期間 8月22日(土)(予定)
会場 九度山町営入郷駐車場
時間 18:30～21:30
料金 無料

夏休み最後のお祭りとして、子供たちの思い出に残るようかき氷・金魚くじなどの模擬店、紀の国やっちゃん盆踊りも催されます。

【問】九度山町教育委員会 社会教育課 ☎ 0736-54-2019



159 花盛祭

期間 4月12日(日)
会場 丹生官省符神社
時間 10:00～
料金 無料

御祭神に花を供え、春の訪れを祝う春の大祭。渡御の儀では、神さまの行列が輪橋を渡る様子が大変華やか。

【問】丹生官省符神社 ☎ 0736-54-2754

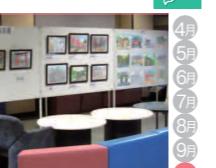


167 九度山百景絵画展(第一部)

期間 10月1日(木)～10月13日(火)
会場 九度山ふるさとセンター
時間 8:30～22:00
料金 無料

九度山町ふるさとセンターにて、町内外から応募された作品を展示。テーマは、九度山町内の風景画。

【問】九度山町役場 産業振興課 ☎ 0736-54-2019



160 紙遊苑企画展「民芸と凧展」

期間 4月25日(土)～5月10日(日) 休館日(月・火)
会場 紀州高野紙伝承体験資料館紙遊苑
時間 9:00～16:30
料金 無料

真田幸村ら親子三代と真田十勇士をあしらった真田凧や、県指定美術品真田獅子頭など約100点を展示。

【問】九度山町教育委員会 社会教育課 ☎ 0736-54-4670



168 えびすのお渡り

期間 10月12日(月・祝)
会場 古沢厳島神社
時間 14:00～
料金 無料

えびす様が24人のお伴を従えて、舞楽を奉して神殿に渡る神事。祭りのクライマックスに行われるえびす飛びは、一番の見どころ。

【問】古沢厳島神社総代代表 ☎ 0736-54-2728



161 真田祭

期間 5月4日(月・祝)～5月5日(火・祝)
会場 道の駅「柿の郷くどやま」芝生広場
時間 10:00～16:00
料金 無料

信州上条より蟄居後、大阪城へ攻め入るまでの14年間雌伏の時を九度山で過ごした戦国武将真田幸村父子を偲んで開催される祭り。

【問】真田まつり実行委員会 ☎ 0736-54-2019



169 九度山百景絵画展(第二部)

期間 10月15日(木)～10月25日(日) 休館日(月・火)
会場 松山常次郎記念館
時間 10:00～16:30
料金 200円(小・中学生 100円)

松山常次郎記念館にて、町内の風景をテーマとした絵画を展示。併せて、入賞者の表彰式も実施。

【問】九度山町役場 産業振興課 ☎ 0736-54-2019



162 九度山八景絵画展

期間 6月24日(水)～7月20日(月・祝) 休館日(月・火)
会場 松山常次郎記念館
時間 10:00～16:30 但し、7月20日(月)は開館
料金 有料

故平山伊藤伯が九度山を訪れた際に描いたスケッチ画を展示。八景を描く予定が、体調を崩し六景までとなった未完の作品です。

【問】九度山町役場 産業振興課 ☎ 0736-54-2019



170 丹生官省符祭り

期間 10月25日(日)
会場 丹生官省符神社
時間 10:00～
料金 無料

年催物に趣向を凝らし、見学していただける祭りです。舞の奉納、社中の踊り、神輿の渡りなどが行われます。

【問】丹生官省符神社 ☎ 0736-54-2754



163 紙遊苑企画展「アサガオ展」

期間 7月24日(金)～9月6日(日) 休館日(月・火)
会場 紀州高野紙伝承体験資料館紙遊苑
時間 9:00～16:30
料金 無料

奈良時代から平安時代にかけ、空海など唐使が薬として種を持ち帰ったのが始まりとされる朝顔。180種にものぼる朝顔を展示。

【問】九度山町教育委員会 社会教育課 ☎ 0736-54-2019



171 高野山開創1200年記念大法会

期間 4月2日(木)～5月21日(木)
会場 奥之院・金剛峯寺・壇上伽藍
時間 8:00～18:00
料金 奥之院無料

平成27年、高野山は弘法大師空海の手で密教の道場が開かれて1,200年を迎える。この期間、御開帳・絢爛壯麗な大法会が執り行われます。

【問】金剛峯寺 ☎ 0736-56-2011



164 傘鉾(県指定無形民俗文化財)

期間 8月16日(日)
会場 古沢厳島神社
時間 14:00～
料金 無料

家内安全や五穀豊穣を祈願して、傘の周囲を直径2mの布幕で囲い秋の七草で飾った傘鉾3本を先頭の宮座衆40人がお渡りをする祭。

【問】古沢厳島神社総代代表 ☎ 0736-54-2728



172 金堂御本尊特別開帳・金剛峯寺持仏御本尊開帳

期間 4月2日(木)～5月21日(木)
会場 伽藍金堂・金剛峯寺持仏
時間 8:00～18:00
料金 伽藍金堂(大人500円 子ども200円)
金剛峯寺(大人500円 子ども200円)

弘法大師空海が密教の道場を開いてから1,200年を迎える節目に、金堂御本尊及び金剛峯寺持仏御本尊がご開帳されます。

【問】金剛峯寺 ☎ 0736-56-2011



165 椎出鬼の舞(県指定無形民俗文化財)

期間 8月16日(日)
会場 椎出厳島神社
時間 17:00～
料金 無料

髪の赤い鬼が長い棒を振りかざし、太鼓や笛にあわせて繰り広げる舞い。県指定無形民俗文化財。プレミアム和歌山観光資産にも登録。

【問】椎出鬼の舞保存会 ☎ 0736-54-4365

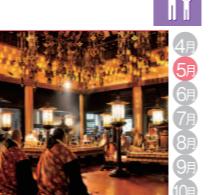


173 旧正御影供御遠夜・旧正御影供

期間 5月8日(金)、5月9日(土)
会場 壇上伽藍御影堂・奥之院燈籠堂
時間 5月8日(金)御影堂 18:00～
5月9日(土)奥之院 9:00～ 御影堂 13:00～
料金 無料

旧暦の3月21日、弘法大師のご入定を偲んで行われる法会。前夜の御遠夜法会では、年に一度の御影堂内拝が可能。

【問】金剛峯寺 ☎ 0736-56-2011



174 青葉まつり

期間 6月15日(月)
会場 大師教会、一の橋～金剛峯寺前広場
時間 9:00～14:30
料金 無料

お大師さまの御誕生をお祝いする町を挙げてのお祭り。宗祖降誕会や華やかな花御堂渡御など様々な催しが開催。

【問】高野山奉賛会 ☎ 0736-56-2011



181 箕島漁港とれピチ朝市

期間 通年(土曜日開催予定、不定期開催)
会場 箕島漁港内
時間 9:00～12:00
料金 無料

辰ヶ浜をはじめ市内の漁港で水揚げされたとれビチな魚を販売。威勢のいい漁師とのやりとりも魅力のひとつ。

【問】有田市役所産業振興課 ☎ 0737-83-1111



175 第42回万燈供養会(ろうそくまつり)

期間 8月13日(木)
会場 奥之院参道・奥之院燈籠堂
時間 19:00～21:00
料金 無料

奥之院までの約2kmの参道の両側に、約10万本のろうそくが手向けられ、漆黒の闇に浮かぶ光の帯は夏の高野山の風物詩です。

【問】ろうそくまつり実行委員会 ☎ 0736-56-3000



182 みかんの花街道ウォーク

期間 5月上旬～中旬
会場 有田市内
時間 10:00～15:00(予定)
料金 参加費 300円

みかんの花咲くやわらかな5月、有田みかんの里有田市で開かれる恒例のウォーキングイベント。ウォーク後には農産物等の販売などあり。

【問】有田市役所有田みかん課 ☎ 0737-83-1111



176 傘鉾祭

期間 8月16日(日)
会場 細川八坂神社
時間 13:30～15:00頃迄
料金 無料

地元で「鬼の舞」とも呼ばれる夏祭。直径2m近い大きな傘鉾と笹竹を持つ鬼が出て、雨乞いや疫病除けを祈願します。

【問】細川八坂神社 ☎ 0736-56-4092



183 中将姫来迎会式

期間 5月14日(木)
会場 得生寺境内
時間 13:00～16:30
料金 無料

中世以降の仏教文化の一端を伺う能重な貴重な行事。子どもが二十五菩薩に扮し練り歩きます。県指定無形民俗文化財。

【問】得生寺 ☎ 0737-88-7110



177 世界遺産高野山ツーデーマーチ

期間 10月24日(土)～10月25日(日)
会場 高野山大学(メイン会場)
時間 7:00～17:00
料金 事前申込: 大人 1,500円 高校・大学生 800円
当日申込: 大人 2,000円 高校・大学生 1,000円

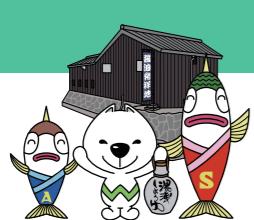
大人から子どもまでハイキング感覚で秋を楽しむウォーキング大会。世界遺産「高野山石道」のほか、各種コースを設定。

【問】ツーデーマーチ実行委員会 ☎ 0736-56-2076



184 第27回有田市芸能大会

期間 7月19日(日)



189 第59回有田市美術展・文化祭

期間 10月31日(土)~11月1日(日)
会場 有田市文化福祉センター、紀州有田工商會議所
時間 土曜日 9:00~17:00 日曜日 9:00~16:00
料金 無料
絵画・写真・書3部門の展示を行う美術展のほか、生花・美術工芸品・水墨画・日本画・俳画などの展示を行う文化祭が催されます。
【問】有田市役所生涯学習課文化振興係 ☎0737-82-3221



197 ゆあさ愛あいまつり

期間 10月31日(土)~11月1日(日)
会場 湯浅スポーツセンター周辺
時間 10:00~17:00
料金 無料
地域の方々の手作りで行われる福祉イベント。地域で活躍する様々な団体が参加し、文化祭・人権啓発講演会等が行われます。
【問】ゆあさ愛あいまつり実行委員会 ☎0737-63-2525



190 紀州湯浅のシロウオまつり

期間 4月1日(水)~4月上旬の日曜日(予定)
会場 島之内商店街周辺
時間 10:00~15:00
料金 無料
グルメフェア、湯浅特産品フェア、フリーマーケットなどの他にはシロウオ漁体験、シロウオくいなどのイベントも行なわれます。
【問】シロウオまつり実行委員会 ☎0737-63-2525



198 稲むらの火祭り

期間 10月17日(土)
会場 広川町役場~広八幡神社
時間 16:00~19:30
料金 無料
津波の接近を稲束に火をつけ、住民に知らせ避難をさせた濱口稲陵の偉業を再現する「稻むらの火祭り行列」が見どころ。
【問】広川町役場産業建設課 ☎0737-23-7764



191 七夕まつり

期間 7月7日(火)
会場 島之内商店街周辺
時間 17:00~21:00
料金 無料
毎年七夕の日、「島之内弁財天さん」の七夕まつりが開かれます。七夕飾りを弁財天社に持ち寄り、商店街にはふき流しが設置されます。
【問】七夕まつり実行委員会 ☎0737-63-2525



199 ふるさとまつり

期間 10月31日(土)~11月1日(日)
会場 広川町民体育館及びその周辺、多目的広場
時間 10月31日 13:00~21:00
11月1日 9:00~15:00
料金 無料
初日は文化展、二日目は文化展のほか、商工祭、健康まつり、太鼓、婦人会踊りなどのアトラクションなどを開催。
【問】広川町教育委員会 ☎0737-23-7795



200 ちいさな駅美術館・絵本企画展

期間 8月1日(土)
会場 湯浅広港周辺
時間 17:00~21:00
料金 無料
伝統的な踊り「湯浅ぞめき」、ステージイベント、花火大会など多彩な催し。花火は打ち上げと観覧の場所が近くで迫力を楽しめます。
【問】湯浅まつり実行委員会 ☎0737-63-2525



期間 通年 休館日(月)
会場 ちいさな駅美術館(JR藤並駅2F)
時間 10:00~19:00(土日祝18:00迄)
料金 無料
毎月変わる有名絵本作家の原画を展示。所蔵絵本数は定番絵本から話題の絵本まで約2,000冊以上。
【問】ちいさな駅美術館(Ponte del sogno) ☎0737-52-2580



193 國津神社例祭(秋祭)

期間 10月15日(木)
会場 國津神社
時間 13:00~17:00
料金 無料
神社には、鼻高面のオニ、鬼面のワニ、そして獅子頭の三面を持つ三面獅子舞が伝えられ、祭礼時に舞が奉納されます。
【問】國津神社 ☎0737-62-4388



201 地域交流センター(ALEC)企画展

期間 通年 休館日(月)
会場 有田川町地域交流センター(ALEC)
時間 10:00~19:00(土日祝18:00迄)
料金 無料
常設歴史展に加え、季節の展示や生活に密着した展示を企画。図書館には、一般書約4万5千冊、まんが約3万5千冊を所蔵。
【問】地域交流センター(ALEC) ☎0737-52-4730



194 幸神社例祭(秋祭)

期間 10月16日(金)
会場 幸神社
時間 13:00~17:00
料金 無料
國津神社、頤園神社の祭と共に、地元では秋祭と呼ばれ、神輿渡御、子どもたちによる三面獅子の獅子舞奉納が行われます。
【問】國津神社 ☎0737-62-4388



202 有田川町鉄道交流館 常設展

期間 通年 休館日(水・木)
会場 有田川町鉄道交流館
時間 10:00~17:00
料金 大人(高校生以上)200円
子ども(小学生以上)100円
有田鉄道をはじめとする鉄道に関する物品を常設展示。土・日・祝には、動態保存車両への「乗車体験」が可能。
【問】有田川町鉄道交流館 ☎0737-52-8710



195 顯國神社例祭(秋祭)

期間 10月18日(日)
会場 顯國神社
時間 13:00~17:00
料金 無料
顯國神社は、平安時代から続く1,200年もの歴史のある神社。秋祭では、県指定無形民俗文化財の三面獅子舞が奉納されます。
【問】顯國神社 ☎0737-62-2405



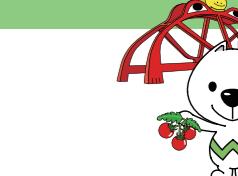
203 御坊市花火大会

期間 10月下旬の日曜日
会場 湯浅湾漁業協同組合・湯浅水産物商業協同組合周辺
時間 10:00~15:00
料金 無料
鯛と鮎の味噌グレムフェア、湯浅特産品フェアのほか、和太鼓演奏など芸術の秋を彩るイベントを開催。
【問】鯛と鮎まつり実行委員会 ☎0737-63-2525



204 御坊祭

期間 10月4日(日)~10月5日(月)
会場 小竹八幡神社他
時間 8:00~
料金 無料
人を見たけり御坊祭と言われるほど御坊日高地方最大の祭。県無形文化財1号指定のけほん踊りは、ユーモア溢れる踊りを披露。
【問】小竹八幡神社 ☎0738-22-0089



204 御坊祭

期間 10月4日(日)~10月5日(月)
会場 小竹八幡神社他
時間 8:00~
料金 無料
人を見たけり御坊祭と言われるほど御坊日高地方最大の祭。県無形文化財1号指定のけほん踊りは、ユーモア溢れる踊りを披露。
【問】小竹八幡神社 ☎0738-22-0089



205 吉原祭(松原王子神社の秋季祭)

期間 10月17日(土)~10月18日(日)
会場 松原王子神社他
時間 10月17日 13:00~17:00 19:00~22:00
10月18日 11:00~22:00
料金 無料
吉原東・西、新浜、田井の4地区から獅子舞や余興の四ツ太鼓などがおこなわれます。本祭の浜お旅所までの御渡御が最大の見所。
【問】美浜町教育委員会 教育課 ☎0738-22-7309



206 和田祭(御崎神社の秋季祭)

期間 10月24日(土)~10月25日(日)
会場 御崎神社他
時間 10月24日 15:00~17:00 19:00~21:00
10月25日 10:00~20:30
料金 無料
獅子舞の奉納のほか、各地区から神輿、屋台、山車、四ツ太鼓が出されます。日高地方で一番の八反織りの旗差しも豪快。
【問】美浜町教育委員会 教育課 ☎0738-22-7309



207 ひだかニッコリゆかたフェスタ

期間 7月下旬~8月の土曜日(未定)
会場 日高町中央公民館駐車場
時間 17:00~(予定)
料金 無料
盆踊りをメインに、恒例のゆかたコンテスト(ゆかたや甚平で来場した方には特典あり)。本年度は国体の炬火イベントも開催予定。
【問】日高町商工会青年部 ☎0738-63-3611



208 クエ・フェア

期間 9月下旬~10月初旬(予定)
会場 産湯海水浴場
時間 11:00~15:00(予定)
料金 無料
クエの解説ショー、重さててクイズ、ライブショーなどイベント多数。有料でクエ鍋・クエ飯・クエ寿司が味わえます。
【問】九絵の町づくり推進実行委員会 ☎0738-63-3611



209 第25回元氣ゆら ふるさとフェスティバル

期間 5月下旬~6月初旬の日曜日(予定)
会場 白崎海洋公園
時間 10:00~15:00
料金 無料
町特産の販売によるミニ商店街、各種ステージイベント、由良町の史跡名勝を巡るバスツアーなどを開催。
【問】由良町教育委員会 教育課 ☎0738-65-1800



210 衣奈祭

期間 10月10日(土)~10月11日(日)
会場 衣奈馬場筋
時間 9:00~16:00
料金 無料
各地区から神事や余興が奉納され、巫女舞や唐船を含む全体が、県指定無形民俗文化財。荒々しい漁村では珍しい、優雅なお祭り。
【問】由良町教育委員会 教育課 ☎0738-65-1800



211 由良祭

期間 10月17日(土)~10月18日(日)
会場 宇佐八幡神社
時間 8:00~
料金 無料
日高地方最大級の屋内の競り合いなど、ダイナミックな祭。町内6区が獅子舞を奉納、横浜と阿土地区のそれは県指定無形民俗文化財。
【問】由良町教育委員会 教育課 ☎0738-65-1800



212 春のおはなし会

期間 4月下旬頃(予定)
会場 いなみっ子交流センター
時間 (未定)
料金 無料
「どもの読書週間」にあわせて、読書に親しみ、図書館を利用するきっかけとして、読書ボランティアや読み聞かせなどを実施。

212 春のおはなし会

期間 4月下旬頃(予定)
会場 いなみっ子交流センター
時間 (未定)
料金 無料
「どもの読書週間」にあわせて、読書に親しみ、図書館を利用するきっかけとして、読書ボランティアや読み聞かせなどを実施。



213 七夕コンサートinいなみ

期間 7月11日(土)
会場 認定こども園 いなみこども園
時間 19:00~20:30
料金 無料
七夕に、近隣高校の合唱部や、いなみこども園園児による合唱、本町ゆかりの歌手によるコンサートなどで交流を深めます。



期間 7月11日(土)
会場 認定こども園 いなみこども園
時間 19:00~20:30
料金 無料
七夕に、近隣高校の合唱部や、いなみこども園園児による合唱、本町ゆかりの歌手によるコンサートなどで交流を深めます。



214 いなみ盆踊り大会

期間 8月中旬頃(予定)
会場 印南町体育センター
時間 (未定)
料金 無料
印南の伝統文化である「印南音頭」を楽しむと共に、後年に伝える機会として開催。三味線の生演奏や他の盆踊りも楽しめます。



期間 8月中旬頃(予定)
会場 印南町体育センター
時間 (未定)
料金 無料
印南の伝統文化である「印南音頭」を楽しむと共に、後年に伝える機会として開催。三味線の生演奏や他の盆踊りも楽しめます。



215 印南祭

期間 10月2日(金)
会場 山口八幡神社、印南八幡神社周辺
時間 (未定)
料金 無料
同じ日に2つの八幡宮の祭りが同時に行われる熱くて激しい祭。各地区的屋台の競り合いや、獅子舞の奉納、お渡り等が見どころ。



期間 10月2日(金)
会場 山口八幡神社、印南八幡神社周辺
時間 (未定)
料金 無料
同じ日に2つの八幡宮の祭りが同時に行われる熱くて激しい祭。各地区的屋台の競り合いや、



220 高城天宝神社の秋祭り

期間 10月25日(日)
会場 高城天宝神社
時間 13:00~
料金 無料
子ども御輿が行われるほか、天狗のような面を被った「オニ」と獅子舞の奉納が最大の見所。
【問】みなべ観光協会 ☎ 0739-72-4949



228 長子祭り(長子神社の秋祭り)

期間 10月11日(日)
会場 長子神社
時間 10:00~15:00頃
料金 無料
五穀豊作への感謝の祭り。鬼獅子の練り込み、若者との喧嘩「鬼の追い出し」と「御旅所と帰りの馬場での獅子と鬼の舞」が見所。
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



221 みやまの里 ふじまつり

期間 4月25日(土)~5月6日(水・祝)(予定)
会場 リフレッシュエリアみやまの里
時間 8:30~17:00
料金 大人 500円 子ども 200円・(団体割引有り)
日本一の長さ(1,646m)を誇るふじ橋ロードは見ごたえあり。展望台からは、県下の一の規模を誇る椿山ダムを一望できる。
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



229 笑い祭り(丹生神社秋祭り)

期間 10月11日(日)
会場 丹生神社
時間 8:00~17:00頃
料金 無料
「奇祭笑い祭り」としても有名で、先達(鈴振り)が、道化した衣装と化粧で「笑えええ」と練り歩きます。県指定無形民俗文化財。
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



222 ヤッホー選手権大会

期間 4月25日(土)~5月6日(水・祝)のうち一日
会場 グリーンパーク椿山 ヤッホーポイント
時間 (未定)
料金 無料
日本一のやまびこスポット「ヤッホーポイント」で開催される選手権。普段大きな声で言えない事や願い事など、何を叫んでもOK!
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



230 土生祭り(土生神社秋祭り)

期間 10月18日(日)
会場 土生神社
時間 9:00~17:00頃
料金 無料
県無形民俗文化財に指定されている「双頭の獅子」は、笛や太鼓の楽曲なしで、矛(ほこ)と影(さざら)の発する気配のみで踊る。
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



223 道成寺会式(ジャンジャカ踊り)

期間 4月27日(月)
会場 道成寺
時間 大蛇行列(ジャンジャカ踊り)14:00~
料金 無料
大蛇となった清姫に追われ、鎧とともに焼きつきされた安珍の鎮魂祭。清姫が大蛇と化し安珍を追う様を再現した大蛇行列が見所。
【問】道成寺 ☎ 0738-22-0543



西牟婁エリア

田辺市 231~261 白浜町 262~279 上富田町 280 すさみ町 281

224 上阿田木神社祭り

期間 4月29日(水・祝)
会場 上阿田木神社
時間 12:00頃~
料金 無料
平安時代から伝わる日高地方唯一の春祭。県指定無形民俗文化財。花祭りとも称され、先端に花飾りのついた沢山の轍が見事です。
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



231 弁慶市

期間 通年(毎月第3日曜日開催)
会場 関鶴神社馬場
時間 8:00~12:00頃
料金 無料
毎月1回第3日曜日に開催される田辺の名物朝市。約30店が軒を連ね
紀南の海の幸、山の幸など様々な地場産品が販売されます。
【問】南紀みらい株式会社 ☎ 0739-25-8230



225 日高川町ほたる観賞の夕べ

期間 5月下旬(予定)
会場 日高川町玄子地内特設会場
時間 19:00~21:00頃
料金 無料(お茶席有料)
乱舞する自然の螢を觀賞しながら、野点(お茶席)や琴、尺八、三味線、コーラスなどの演奏もお楽しみ頂けます。
【問】日高川町商工会 ☎ 0738-23-3434



226 日高川町夏まつり

期間 8月8日(土)
会場 日高川ふれあいドーム
時間 イベント 13:00~ 花火 20:00~
料金 無料(つかみ取り参加は有料)
鮎と鮎のつかみ取りは毎年大人気。バンド演奏やダンスなどのステージ有り。紀の国わかま固体・大会の焰火イベントも同時に開催。
【問】日高川町商工会 ☎ 0738-23-3434



227 紀道まつり(紀道神社の秋祭り)

期間 10月11日(日)
会場 紀道神社
時間 11:00~16:00頃
料金 無料
「秋期例大祭」とも呼ばれる五穀豊穗を祈る感謝の祭り。巫女による雅楽、日高郡特有の頭屋獅子、駆け馬が見所。
【問】日高川町観光協会 ☎ 0738-22-2041



234 熊野本宮大社例大祭

期間 4月13日(月)~4月15日(水)
会場 熊野本宮大社・大斎原・湯の峰温泉周辺
時間 4月13日9:00~
料金 無料
本宮大社最大の祭。13日「湯登り神事」を皮切りに15日まで開催。渡御祭では大小4つの神輿・300名の行列が町内を練り歩く。
【問】熊野本宮大社 ☎ 0735-42-0009



235 合併10周年記念特別展 コレクションのあゆみI

期間 4月18日(土)~5月24日(日)
5月29日(金)~6月28日(日) 休館日(月)
会場 田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 田辺市立美術館 600円
熊野古道なかへち美術館 250円(学生及び18歳未満無料)
本館コレクションの核の一つである文人画や近世書画、分館コレクションの主軸の一人、渡瀬凌雲の作品を展覧。
【問】田辺市立美術館 ☎ 0739-24-3770



243 大塔鮎釣り大会

期間 7月5日(日)
会場 大塔青少年旅行村
時間 6:00~15:00
料金 参加費 1,500円(見学無料)
富里地域を中心とした日置川流域で行われる鮎釣り大会。予選・決勝で競われ、おり鮎を含めた匹数で順位を決定。
【問】大塔鮎釣り大会実行委員会事務局 ☎ 0739-48-0301



236 七越祭

期間 4月29日(水・祝)
会場 七越峰 延命地蔵尊前広場
時間 12:00~14:00
料金 無料
七越峰(大峰奥駿道南端)に祭られている延命地蔵尊のお祭り。大峰山から数えて七つの峰にあたるとされ、つじ桜の名所。
【問】熊野本宮観光協会 ☎ 0735-42-0735



237 船玉神社祭

期間 5月3日(日)
会場 船玉神社
時間 11:00~14:30
料金 無料
熊野權現(スサノオノミコト)が玉の滝で修業した際に船を考案した場所とするされる船玉神社のお祭り。
【問】熊野本宮観光協会 ☎ 0735-42-0735



238 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 特別公開

期間 5月5日(火・祝)、5月9日(土)
会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 顕彰館無料(熊楠邸は下記のとおり)
ごどもの日は18歳以下無料、南方熊楠賞記念特別公開日(5月9日)は全員無料。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



239 第25回南方熊楠賞授賞式 田辺市合併10周年記念

期間 5月9日(土)(予定)
会場 紀南文化会館 4F 小ホール
時間 13:30~16:00
料金 無料(定員 200名 事前申込必要)
南方熊楠翁の研究対象の分野、翁自身の研究に顕著な業績のあった研究者に、それぞれ南方熊楠賞・特別賞を贈り、記念講演を開催。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



240 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸 特別開館

期間 5月18日(月)、7月20日(月・祝)、9月21日(月・祝)
会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 顕彰館無料(熊楠邸は下記のとおり)
月曜特別開館日。5月18日(月)南方熊楠誕誕記念で全員無料。7月20日(月)海の日18歳以下、9月21日(月)敬老の日65歳以上無料。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



241 第41回月例展・多屋謙吉(予定) 田辺市合併10周年記念

期間 6月6日(土)~7月5日(日)(予定)
会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 顕彰館無料 熊楠邸(大人300円 高校・大学生200円 小・中学生100円)
篠実な性格で、南方熊楠の信頼を受けて経済面での相談に預かり、また助言をするこもあった多屋謙吉を紹介します。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



242 田辺扇ヶ浜海水浴場海開き

期間 7月1日(水)
会場 田辺扇ヶ浜海水浴場
時間 10:30~
料金 無料
扇形の砂浜から扇ヶ浜と呼ばれます。海開きでは、安全祈願神事の後、地元保育所園児等が初泳ぎを行います。
【問】田辺観光協会 ☎ 0739-26-9929



244 南紀田辺ビーチサイドドルフィン in 扇ヶ浜

期間 7月中旬~8月中旬(予定)
会場 田辺扇ヶ浜海水浴場
時間 9:30~18:00(受付 17:30迄)
料金 イルカ島入場料 500円(予定)
南紀田辺の扇ヶ浜海水浴場に「イルカ島」が登場します。大型の特設イケスを設置し、イルカと触れ合えるイベントを開催。
【問】南紀みらい株式会社 ☎ 0739-25-8230



245 田辺市立美術館 ミロ展~スペイン巨匠の版画~

期間 7月18日(土)~8月30日(日) 休館日(月)
会場 田辺市立美術館
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 一般 600円(学生及び18歳未満無料)
20世紀スペインを代表する美術家ジョアン・ミロの芸術版画作品(第一作から最新作品まで約150点)で軌跡を振り返り紹介。
【問】田辺市立美術館 ☎ 0739-24-3770



246 熊野古道なかへち美術館 館蔵品展 渡瀬凌雲の作品(仮称)

期間 7月18日(土)~8月30日(日) 休館日(月)
会場 熊野古道なかへち美術館
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 一般 250円(学生及び18歳未満無料)
南画を積極的に世界に紹介した現由田辺市中辺路町を郷里とする南画家 渡瀬凌雲の作品を展示します。
【問】熊野古道なかへち美術館 ☎ 0739-65-0390



247 第19回特別企画展田辺の生物(仮題) 田辺市合併10周年記念

期間 7月18日(土)~9月13日(日)(予定) 休館日(月・第2第4火)
会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 頭彰館無料 熊楠邸(大人300円 高校・大学生 200円 小・中学生 100円)
熊楠が「紀州田辺湾の生物」で貴重性を訴えた田辺湾の動植物に注目し、熊楠時代からの変遷や現代見られる動植物を紹介します。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



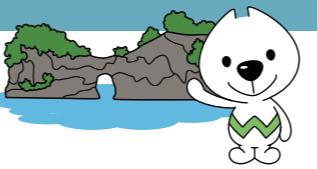
248 田辺祭

期間 7月24日(金)~7月25日(土)
会場 関鶴神社を中心とした市内
時間 7月24日8:45~ 7月25日4:30~
料金 無料
関鶴神社の例大祭で和歌山県三大祭りの一つ。8基の笠鉾「おかさ」が練り歩く、450年の歴史ある祭り。県指定無形民俗文化財。
【問】関鶴神社 ☎ 0739-22-0155



249 第30回熊野古道清姫祭り

期間 7



251 扇ヶ浜まつり

期間 8月中旬(未定)
会場 田辺扇ヶ浜海水浴場
時間 10:00~20:30
料金 無料
田辺観光協会、田辺商工会議所主催の夏のイベント。朝から夜まで楽しめるイベント(去年は流しうめんや鮎つかみ)や、夜店も有り。
【問】田辺観光協会 ☎ 0739-26-9929



259 第29回弁慶まつり

期間 10月9日(金)~10月10日(土)
会場 関鷺神社・市内各所
時間 初日 18:30~20:30 2日目 10:00~21:00
料金 無料
「武蔵坊弁慶・熊野水軍出陣800年祭」が弁慶まつりの始まり。演劇、弁慶伝説、弁慶ゲタ踊り、鬼若太鼓などのイベントを開催。
【問】弁慶まつり実行委員会 ☎ 0739-22-5064



252 流れ施餓鬼

期間 8月15日(土)
会場 下川上 安川の河原
時間 18:30~
料金 無料
安川で行われる盆行事。青竹で骨組みを作り、麦わらで長さ約9メートルの施餓鬼船を作る。誂絵の後、火がつけられ流される。
【問】大塔観光協会 ☎ 0739-48-0301



260 第62回田辺市美術展覧会

期間 10月9日(金)~11日(日)、10月16日(金)~18日(日)
会場 紀南文化会館
時間 9:00~19:00(最終日 17:00迄)
料金 無料
田辺市を中心とする紀南地方を代表する美術展覧会。一期は洋画・写真・陶芸を、二期は生花・書・彫塑を展示。
【問】田辺市教育委員会 文化振興課 ☎ 0739-26-9943



253 八咫の火祭り

期間 8月29日(土)
会場 大斎原(熊野本宮大社旧社地)
時間 18:30~21:00
料金 無料
古式ゆかしい時代行列の「祀り」から太鼓・踊り・火花へとパワフルな「祭り」へ変化する。歴史と現代の感性が融合する祭。
【問】熊野本宮観光協会 ☎ 0735-42-0735



261 第47回田辺花火大会

期間 10月10日(土)
会場 田辺扇ヶ浜
時間 20:00~20:30
料金 無料
田辺湾を舞台に行われる花火大会。弁慶まつりとの同時開催で祭りムード一色の火の玉を飾る。3,000発の花火が夜空を彩る。
【問】田辺観光協会 ☎ 0739-26-9929



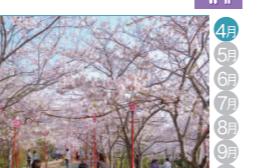
254 第31回紀南合唱祭

期間 9月6日(日)
会場 紀南文化会館 大ホール
時間 13:00 開演
料金 無料
紀南地方の中学校、高校、一般の合唱団体が一堂に会する演奏会。出演者、来場者が一体となり合唱を楽しむことができます。
【問】田辺市教育委員会 文化振興課 ☎ 0739-26-9943



262 平草原公園桜まつり

期間 4月1日(水)~4月5日(日)(予定)
会場 平草原公園
時間 8:30~17:00(夜桜期間は21:00迄)
料金 無料
春のイベントの一つとして定着している平草原公園の「桜まつり」。夜桜ライトアップ、桜吹きフェア等各種イベントを実施。
【問】いきいき紀州活力白浜推進協議会 ☎ 0739-43-6588



255 合併10周年記念特別展 コレクションのあゆみⅡ

期間 9月19日(土)~11月8日(日) 休館日(月)
会場 田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 熊野古道なかへち美術館 250円(学生及び18歳未満無料)
合併10周年記念として、両館がこれまで収集してきた作品を紹介。
Ⅱ部は洋画や近代日本画を中心とした作品群を展覧、紹介します。
【問】田辺市立美術館 ☎ 0739-24-3770



263 南方熊楠記念館 開館50周年記念特別展

期間 4月1日(水)~6月10日(水) 7月頃から休館予定
会場 南方熊楠記念館
時間 9:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 高校生以上 400円(大会関係者 360円)
小・中学生 200円(大会関係者 180円)
世界的博物学者・民俗学者で、日本における自然保護活動の先駆者と言われる「南方熊楠」を紹介する南方熊楠記念館開館50周年を記念する特別展。
【問】南方熊楠記念館 ☎ 0739-42-2872



256 第43回吹奏楽祭

期間 9月22日(火・祝)(予定)
会場 紀南文化会館 大ホール
時間 13:30 開演
料金 無料
紀南地方の中学校、高校及び一般の吹奏楽団体が一堂に会する演奏会。それぞれの団体が息の合った演奏を見せます。
【問】田辺市教育委員会 文化振興課 ☎ 0739-26-9943



264 第26回白浜町美術家協会展

期間 4月の金曜日~日曜日の三日間(予定)
会場 白浜町立総合体育館アリーナ
時間 9:00~17:00(最終日 16:00迄)
料金 無料
「工芸・絵画・書道・華道・彫塑・写真」6つの部門で行う年1回の展覧会。
【問】白浜町中央公民館 ☎ 0739-42-2269



257 祝・紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会!

期間 9月28日(月)~10月6日(火)
会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
時間 9:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 顕彰館無料 熊楠邸(社会関係者無料 大人300円 高校・大学生200円 小・中学生100円)
紀の国わかやま国体・大会の開催を記念して、田辺市での国体開催期間中、大会参加者などを対象に観覧料を無料とします。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



265 海水浴場海開き(白良浜)

期間 5月3日(日)
会場 白良浜海水浴場
時間 9:00~13:00
料金 無料
本州一番早い海水浴場開き。一斉清掃、安全祈願などの後、ライフセーバーによるレスキューデモやフラダンスを披露。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



258 第42回月例展 寺石正路(予定)

期間 10月3日(土)~11月1日(日)(予定) 休館日(月・第2,4火)
会場 南方熊楠顕彰館・南方熊楠邸
時間 10:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 顕彰館無料 熊楠邸(大人300円 高校・大学生 200円 小・中学生100円)
東京大学予備門の同窓生で高知の郷土史家、寺石正路と熊楠の交流を紹介します。
【問】南方熊楠顕彰館 ☎ 0739-26-9909



266 第47回砂まつり大会

期間 5月24日(日)
会場 白良浜海水浴場
時間 夜明け~14:00
料金 無料
砂で作る体験型芸術コンクールで、白浜の夏を代表するイベント。参加者は、夜明けごとに作品の制作を開始する。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



267 有間皇子記念式典・献湯祭・温泉神社式典

期間 6月1日(月)
会場 有間皇子記念碑・温泉神社
時間 9:30~13:00
料金 無料
有間皇子が南紀白浜を世に知らしめた功績を顕彰する式典。角樽に汲み取られた「一番湯」を陣羽織行列で奉納します。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



275 白浜花火大会

期間 8月10日(月)
会場 白良浜海水浴場
時間 20:00~21:00
料金 無料
早打ちスマイン、水中スマインなど趣向を凝らした花火のほか、湾全体を銀世界に包むナイアガラは必見。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



268 第53回和歌山県美術家協会展 白浜展

期間 6月4日(木)~6月8日(月)
会場 白浜会館
時間 10:00~17:00
料金 無料
和歌山県美術家協会会員による「洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑」の選抜作品約200点を展示します。
【問】白浜町教育委員会 ☎ 0739-43-5830



276 熊野水軍埋蔵金探し

期間 8月26日(水)~8月30日(日)
会場 白良浜海水浴場
時間 10:00~15:00
料金 無料
その昔、熊野水軍の船が遭難した際、白良浜に多くのお宝に隠したとの言い伝えにちなんで始まった宝探し冒険イベント。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



269 文化講演会

期間 6月28日(日)
会場 コガノイペイホテル
時間 13:00~14:30
料金 無料
関西大学国際部澤山利弘教授による「ボランティア活動、スポーツイベントを通しての地域活性化について」の文化講演会。
【問】白浜町国体推進課 ☎ 0739-43-5570



277 第6回南紀白浜フュフェスティバル

期間 9月5日(土)~9月6日(日)
会場 白良浜海水浴場特設ステージ
時間 17:00~20:00
料金 参加費無料(入場無料)
真っ白な砂浜、キレイな海、素敵な夕日の下、最高のステージで踊る全国のフランダンス愛好家の素敵なステージ。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



270 南紀白浜温泉キャンドルライミネーション2015

期間 7月18日~8月22日の毎週土曜日 ※8月1日を除く。
会場 白良浜海水浴場
時間 20:00~21:00
料金 無料
真夏の喧騒から一転、夜の白良浜にて各々のメッセージを記した2,015本のキャンドルに灯がともり、幻想的な世界を創り出します。
【問】白浜温泉旅館協同組合 ☎ 0739-42-2215



271 南紀白浜温泉2015年メッセージ花火

期間 7月18日(土)~8月23日(日)
※7月30日・8月1日・8月30日を除く。
会場 白良浜海水浴場
時間 20:10~21:00
料金 見学無料(花火一発 5,000円)
恋人や家族へメッセージ花火をプレゼント。スピーカーとFM放送でオンエアされ、直後に4号玉花火(直径約12cm)が打ち上げられる。
【問】白浜温泉旅館協同組合 ☎ 0739-42-2215



272 日置川鮎釣り大会・日置川鮎まつり

期間 7月26日(日)(予定)
会場 向平キャンプ村
鮎釣り 6:30~15:00 祭 9:00~14:00
料金 有料(一部無料)
鮎釣り大会の部とまつりの部の2部構成。まつりの部では、カヌー教室や鮎のつかみどりを体験。
【問】日置川観光協会 ☎ 0739-52-2302



273 白浜花火フェスティバル

期間 7月30日(木)
会場 白良浜海水浴場
時間 20:00~20:40
料金 無料
花火と音楽のハーモニーで、白浜の夜空を鮮やかに染めます。趣向を凝らした演出とダイナミックな花火で観客を魅了。
【問】白浜観光協会 ☎ 0739-43-5511



274 湯のまちしらはまおどり

期間 8月1日(土)(予定)
会場 浜通り、しらはまゆう公園
時間 19:00~21:00
料金 無料
白良浜前(浜通り)の路上を、浴衣姿で踊り手が練り歩く路上踊りを開催。
【問】湯のまちしらはまおどり実行委員会 ☎ 0739-43-6598



281 イノブータン王国建国30周年祭 第35回イノブタービー

期間 5月3日(日)
会場 すさみ海水浴場
時間 (未定)
料金 無料(一部有料イベント)
すさみ名物「イノブタービー」をはじめ、なんでも朝市、早食い競争、王国建国式典、演奏会のほか、各種体験メニューも実施。





東牟婁エリア

新宮市 282 ~ 289 那智勝浦町 290 ~ 296 太地町 297 古座川町 298
北山村 299 ~ 300 串本町 301 ~ 307

282 熊野速玉大社 熊野神宝館

期間 通年
会場 熊野速玉大社 神宝館
時間 9:00~16:00
料金 500円(高校生以下無料)



神宝館は南紀州の正倉院と呼ばれ、熊野速玉大社に伝わる室町時代の蒔絵手箱(国宝)や彩絵檜扇(国宝)など1,200点もの神宝類を展示。
【問】熊野速玉大社 ☎ 0735-22-2533

283 新宮市立歴史民俗資料館 常設展

期間 通年 休館日(月)
会場 新宮市立歴史民俗資料館
時間 9:00~17:00(入館 16:00迄)
料金 高校生以上 210円



小・中学生 100円(土日は小・中・高生無料)
阿須賀神社の境内から発見された弥生～古墳時代の出土品、熊野三山信仰が栄えた平安～鎌倉～室町時代の日本有数の懸仮等を展示。
【問】新宮市文化振興課 ☎ 0735-23-3368

284 新宮市立佐藤春夫記念館 常設展

期間 通年 休館日(月・祝日の翌日)
会場 佐藤春夫記念館
時間 9:00~17:00(入館 16:30迄)
料金 高校生以上 310円



小・中学生 150円(土日は小・中・高生無料)
新宮市出身の作家・佐藤春夫の東京の邸宅を移築し、平成元年11月に記念館として開館。春夫の詩集、小説、絵画等の作品を展示。
【問】新宮市文化振興課 ☎ 0735-23-3368

285 国の天然記念物 浮島の森

期間 通年
会場 浮島の森
時間 9:00~17:00
料金 高校生以上 100円 小・中学生 50円
島全体が沼の中に浮いている不思議な島。北方系と亜熱帯・熱帯系の植物が混生するという貴重な植物群落で、国の天然記念物に指定。
【問】新宮市商工観光課観光係 ☎ 0735-23-3357



286 第53回熊野徐福万燈祭

期間 8月13日(木)(予定)
会場 新宮市内熊野川河川敷
時間 19:30~21:00
料金 無料
2,200年前に秦の國から渡來した徐福の遺徳を偲ぶ供養式典で、熊野川河川敷から上がる花火大会が開催されます。
【問】新宮市商工観光課観光係 ☎ 0735-23-3357



287 那智勝浦吹奏楽団 第20回記念定期演奏会

期間 9月6日(日)
会場 新宮市民会館
時間 18:30~20:30
料金 大人 500円 子ども 300円
吹奏楽の演奏会。舞台と客席が一体となった「楽しい音楽会」を創出します。
【問】那智勝浦吹奏楽団 ☎ 0735-52-3795



288 平成27年度新宮秋まつり

期間 10月11日(日)、10月15日(木)
会場 新宮市中央通り
時間 10月1日 10:00~16:00 18:00~21:30
10月15日 19:00~21:00
料金 無料
賑わいの創出と郷土愛の構築が目的の市民総出のお祭。初日は創作踊り、2日目は手踊り・子ども神輿、夜は賑やかなお祭り新宮祭。
【問】新宮市商工観光課観光係 ☎ 0735-23-3357



289 御船祭(熊野速玉大社例大祭)

期間 10月15日(木)~10月16日(金)
会場 熊野川河川敷
時間 10月15日午後~ 10月16日8:00~
料金 無料
15日には「神馬渡御式」、16日には美しい神幸船を先導する9隻の早船競漕による「神輿渡御式」が行われる。県指定無形民俗文化財。
【問】熊野速玉大社 ☎ 0735-22-2533



297 在米太地人会創立100周年記念特別展

期間 9月1日(火)~10月31日(土)
会場 太地町石垣記念館
時間 9:30~16:30
料金 無料
在米太地人会創立100周年を記念して、戦前に海外に渡り新しい国の新しい町づくりに参加した紀南の人々に焦点を当てる特別展示。
【問】太地町歴史資料室 ☎ 0735-59-2335



290 勝浦漁港にぎわい広場

期間 4月5日~10月25日の毎週日曜日
会場 勝浦漁港にぎわい広場朝市(勝浦漁港内)
時間 8:00~11:00
料金 無料
日本有数の生鮮まぐろの水揚げを誇る勝浦漁港で実施される朝市。近くには、海・港を眺めながら利用できる足湯「海の湯」もあり。
【問】那智勝浦町役場 観光産業課 ☎ 0735-52-0555



291 読書スタンプラリー

期間 7月1日(水)~8月30日(日) 休館日(月)
会場 那智勝浦町立図書館
時間 9:00~17:30
料金 無料
期間中、借りた本の数だけスタンプを押印。スタンプ台紙は、両大会にちなんだきいちん絵柄。
【問】那智勝浦町立図書館 ☎ 0735-52-5955



292 熊野那智大社例大祭(那智の扇祭り)

期間 7月14日(火)
会場 熊野那智大社・別宮飛瀧神社(那智の瀧前)
時間 10:00~15:30
料金 無料
那智の火祭とも呼ばれ、12体の扇神輿を大松明の炎で清める神事が行われる。ユネスコ無形文化遺産登録の那智扇楽などを奉納。
【問】熊野那智大社 ☎ 0735-55-0321



293 那智勝浦町花火大会

期間 8月11日(火)
会場 那智海水浴場
時間 20:00~21:00
料金 無料
町民手づくりの花火大会。会場の那智海水浴場は環境省が選ぶ「快水浴場100選」の特選に選ばれた綺麗な海岸。
【問】那智勝浦町花火大会実行委員会事務局 ☎ 0735-52-0555



294 高芝の獅子舞

期間 9月12日~9月13日又は9月19日~9月20日(予定)
会場 高芝区民会館
時間 宵宮 20:00~ 本宮 14:00~
料金 無料
260年以上の歴史を誇る勇壮と典雅を兼ね備えた伊勢流獅子舞(県指定無形民族文化財)。祭典では、9つの獅子舞の演目を奉納。
【問】那智勝浦町役場 観光産業課 ☎ 0735-52-0555



295 第21回読書マラソン大会

期間 10月1日(木)~12月26日(土)休館日(月・月末日)
会場 那智勝浦町立図書館
時間 9:00~17:30
料金 無料
期間中、1冊(うち1冊は、国体・大会開催にちなみスポーツ関連か和歌山関連の本が条件)の本を読むと完走。認定書贈呈。
【問】那智勝浦町立図書館 ☎ 0735-52-5955



296 あげいん熊野詣

期間 10月25日(日)
会場 那智山
時間 9:30~15:30
料金 見学無料(イベント参加は高校生以上 5,000円)
平安中期から鎌倉時代の後半にかけて頻繁に行われた熊野御幸を当時そのままに再現し、熊野古道を辿ります。
【問】那智勝浦町観光協会 ☎ 0735-52-5311



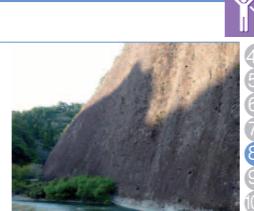
297 在米太地人会創立100周年記念特別展

期間 9月1日(火)~10月31日(土)
会場 太地町石垣記念館
時間 9:30~16:30
料金 無料
在米太地人会創立100周年を記念して、戦前に海外に渡り新しい国の新しい町づくりに参加した紀南の人々に焦点を当てる特別展示。
【問】太地町歴史資料室 ☎ 0735-59-2335



298 一枚岩守り犬の夏祭り

期間 8月23日(日)(予定)
会場 古座川町一枚岩前
時間 15:30~20:00
料金 無料
国指定天然記念物「古座川の一枚岩」に犬の姿に見える山影「一枚岩の守り犬」が写された8月下旬に実施。イベントも多数。
【問】古座川町産業振興課 ☎ 0735-72-0180



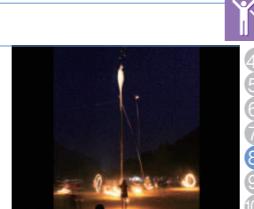
299 北山村観光筏下り

期間 5月~6月土日祝運行 7月~9月 全日運行(木曜除く)
会場 北山川
時間 9:00~17:00 受付
料金 大人 6,000円(8月のみ大人 7,000円)
小学生 3,000円
木材の輸出方法として盛んだ筏下りを、観光向けに復活させ、激流北山川を筏に乗って下ります。プレニアリーアンド歌謡遺産。
【問】北山村観光センター ☎ 0735-49-2324



300 北山村追善盆踊り

期間 8月15日(土)
会場 おくとろ公園グラウンド
時間 18:00~21:00
料金 無料
全国唯一、飛地の村の夏祭りです。柱松への火入れの後、追善の盆踊りを踊ります。出店、抽選会など多彩なイベントもあります。
【問】北山村教育委員会 ☎ 0735-49-2331



301 日米修好記念館 常設展示

期間 通年
会場 日米修好記念館
時間 9:00~17:00
料金 (未定)
レディワシントン号とグレイス号の2隻のアメリカ商船が大島に上陸した当時の様子を解説したジオラマ写真、船の模型などを展示。
【問】串本町産業課 ☎ 0735-65-0099



302 トルコ記念館 常設展示・トルコ軍艦遭難慰靈碑

期間 通年
会場 トルコ記念館・トルコ軍艦遭難慰靈碑
時間 9:00~17:00
料金 (未定)
エルトゥールル号が大島沖で座礁した際、地元住民が救助・献身的な看護を行ったことが、日本とトルコの友好の始まりとなりその証として建設。
【問】串本町産業課 ☎ 0735-65-0099



303 横野崎灯台旧官舎 常設展示

期間 通年 開館日(土・日・祝)
会場 横野崎灯台旧官舎
時間 9:00~17:00
料金 (未定)
1890年、エルトゥールル号が遭難し、乗組員救出の舞台となった横野崎灯台と官舎。2003年、国登録有形文化財に登録。
【問】串本町産業課 ☎ 0735-65-0099



304 第53回和歌山県美術家協会展 串本展

期間 5月28日(木)~6月1日(月)
会場 串本町立体育館
時間 10:00~17:00
料金 無料
和歌山県美術家協会会員による「洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑」の選抜作品を展示します。
【問】串本町教育課(社会教育グループ) ☎ 0735-62-0006



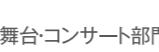
博物展部門



芸術展部門



舞台・コンサート部門



その他イベント部門

大会関係者とは、参加章・記念章又は総合プログラムなどの大会パンフレットを提示した者をいいます。